

OKWave総合研究所 Monthly Report 2014.09

介護

家族の悩み



Note

本資料は、OKWave総合研究所が任意に選択したテーマに対する分析結果をまとめたものです。分析対象は、OKWaveのサービスに蓄積されたQ&Aデータです。毎月、季節や流行に合わせたテーマでの発行を予定しています。

本資料は、テーマに対する広く浅い分析結果を紹介するものとなっています。いくつかの異なる分析手法を適用し、それぞれセクションを分けて結果をまとめています。各セクションの内容はそれぞれ独立しており、興味のあるセクションのみでも理解できる構成になっています。

本資料は、より多くの方に共通すると思われる一般的な切り口での分析内容となっています。ご要望に応じたテーマと切り口を元に、より深い分析を行うカスタム分析も承っております。

無償でトライアル分析も承っております。お気軽に下記までご連絡下さい。

OKWave総合研究所 法人窓口：
okri_sample@ml.okwave.co.jp

本資料に基づくお客様の行動およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用に当たりましては、お客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

本資料における著作権およびその他すべての権利は、株式会社オウケイウェイヴに帰属します。本資料の全文または一部を転載・引用等される場合は、下記までご連絡下さい。

OKWave総合研究所 広報窓口：
okri_pr@ml.okwave.co.jp

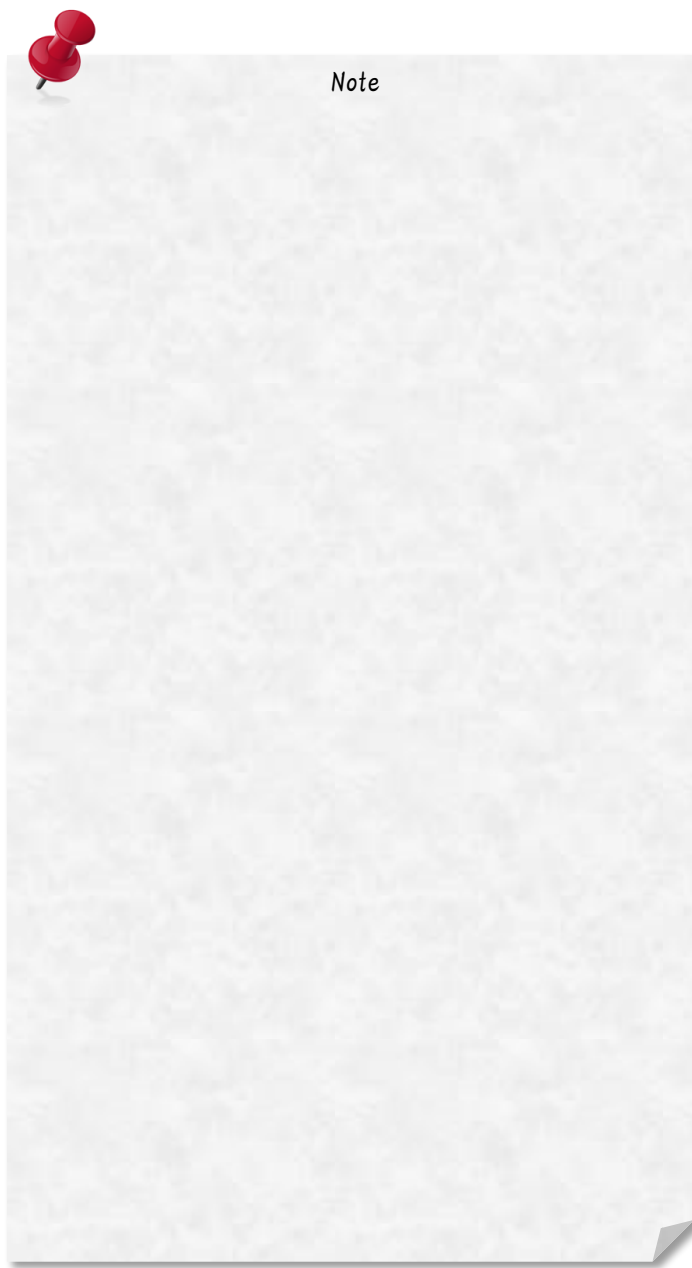


会員数**250万人**

月間利用者数**4,000万人**以上

Q&A総数**3,000万件**以上

カテゴリ数**約1,000**カテゴリ



Note



質問

回答

お礼

質問
No.8561773

お気に入り投稿に追加する (0人が追加しました)

閲覧数117 回答数6

がんばろう日本!

▼

軽なときでも

どうして質問に早く丁寧に答えてくれるのですか？

こんにちは。
みなさんはどうして「教えて！goo」の質問にとても早く、ていねいに回答して下さるのでしょうか？

旅行用バックパックについて質問したところ、すぐに回答をいただいてびっくりしています。
<http://oshiete.goo.ne.jp/qa/8561211.html>

いままで、検索の結果で質問・回答を閲覧したことはあったのですが、このたび初めて質問をして、とても早く、さらにためになる回答をもらえて驚きです\(@o@)!/！

どのように質問を探しているのかとか、どういう質問なら答える気持ちになるのかなど、教えていただくと次の自分の質問にも役に立つと思っています！よろしくお願いします。

回答No.2

自分が回答できそうな質問を見つけると、まず質問者のお礼率を見て50%以上なら回答します。

少しでも早く回答するのは、やはり他の回答者との競争心も働きます。ゆっくり回答して、自分より早く回答した人と同じような内容だったら、間抜けに見えるでしょう。

困ってる人に回答して、自分が役に立てれば喜びです。お礼をしてもらえて、役だったことが確認できればなお嬉しいですよ。

投稿日時 - 2014-04-20 13:05:08

通報する

この回答を支持する (現在1人が支持しています)

👍

お礼

ありがとうございます！

たしかに、先に回答したものの勝ちというか、後の回答のほうがりハードル(期待する度合い)が上がりますね。
お礼はやはり大事ということがよく分かりました。感謝いたします！

投稿日時 - 2014-04-20 14:20:38

Note

Q & A には発見がいっぱい!

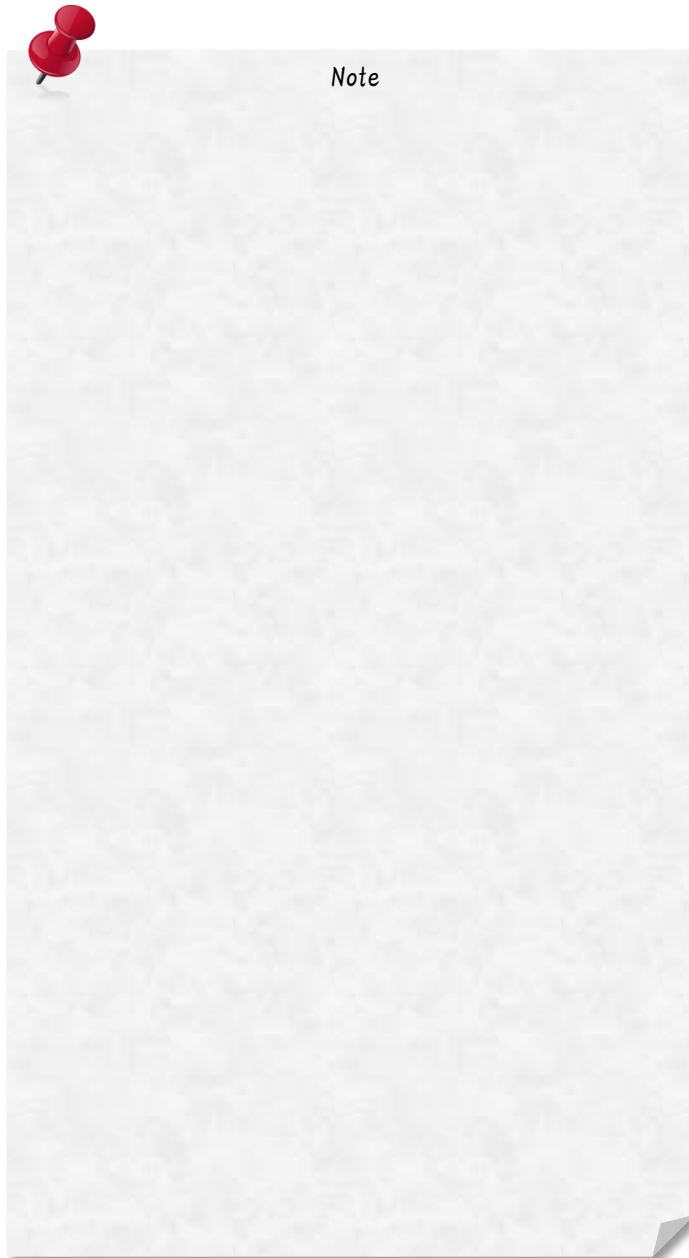
OKWave総合研究所

Copyright © 2014 OKWave All Rights Reserved.

2



1. Executive Summary
2. データ概要
3. データ
 - 3.1 属性傾向
 - 3.2 時系列推移
 - 3.3 簡易集計
4. 分析
 - 4.1 キーワード分析
 - 4.2 追跡分析
 - 4.3 経験分析
 - 4.4 マイノリティ分析





分析方法

分析結果から得られる事実

分析詳細情報

【簡易集計】「新生活」に関する質問データを月毎に集計
 「新生活」のキーワードを含む質問データについて、月毎の質問データ数を調査
 <この図からわかること>
 新生活に関する質問数は3月が最も多い。2月から増加を始め、5月には収束する。

質問数

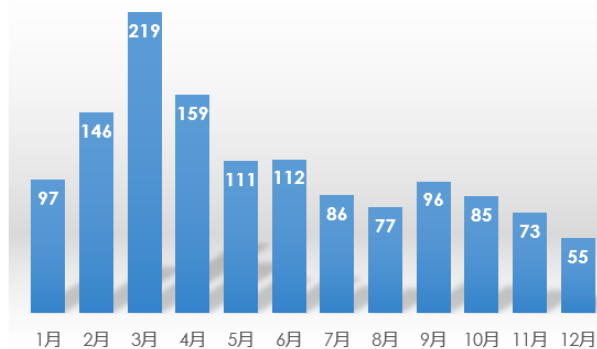


Figure 2 : 月毎の質問データ数

<考察> 4月からの新年度にスタートする新生活についての相談が多いと予想される。

分析結果に基づく考察

OKWave総合研究所 Monthly Report 2014.02 MR20140201



Note

【キーワード分析とは】

キーワード分析は、ある特定のキーワードについて、関連するワードや話題を調査することで、ユーザーが製品やサービスに対して持つ悩み・要望・疑問などを明らかにすることを目的としている。

- ◆ ここでは、「新生活」を含む質問データで記載されているキーワードの傾向を分析した。
- ◆ 新生活に関する話題は、「結婚後の新生活に関する疑問」「大学での友人関係の悩み」「家具・家電の購入に関する相談」「引越し先の物件探し」に大別された。

【図の見方】

- ・ 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- ・ 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

Note



Note

1. Executive Summary

1. キーワード分析

- 「介護」に関する男女の傾向の違いを分析したところ、介護の負担の感じ方に違いがあり、特に**女性は「介護」が原因で結婚が遠のく/敬遠してしまう**傾向が見られた。

2. 追跡分析

- お礼データを分析したところ、**介護者は適切な相談相手/機関を見つけることができず**に悩んでいる様子が確認された。

3. 経験分析

- ケアマネージャそのものや、ケアマネージャを通しての施設探しがうまくいっていないという声が多数みられ、**現状では介護者自身が独力でケアマネージャ/施設を探さなくてはならない状態**であることがわかった。

4. マイノリティ分析

- 要介護者だけでなく、**定職についていない自身で家事などをこなすことのできない者が家族に**いることが**将来、介護者に大きな負担となる**可能性が示唆された。

Note

【各分析の特徴】

- ◆ **キーワード分析**
特定の事象に対するユーザの行動理由が特定できる。
- ◆ **追跡分析**
お礼データを分析することで質問者が回答を受けてどのように意識・行動変化したかを把握すると共に、変化を促したキーワードを発見することを目的としている。
- ◆ **経験分析**
製品・サービスの使われ方、使用に際して困難を感じるポイント・現状の不満点を把握できる。
- ◆ **マイノリティ分析**
現在は非常に数が少ないものの、将来的に需要が拡大する可能性のある声を抽出することを目的としている。

※それぞれの分析結果や総合的に得られた知見から、商品企画、宣伝時期、コスト削減などに対するヒントを得ることができる。



- 抽出基準

キーワード：「介護」

カテゴリ：「介護」

- 抽出期間

2000/01~2014/07 (約15年間)

- 抽出データ数

質問：18,859件

回答：64,933件

お礼：42,410件

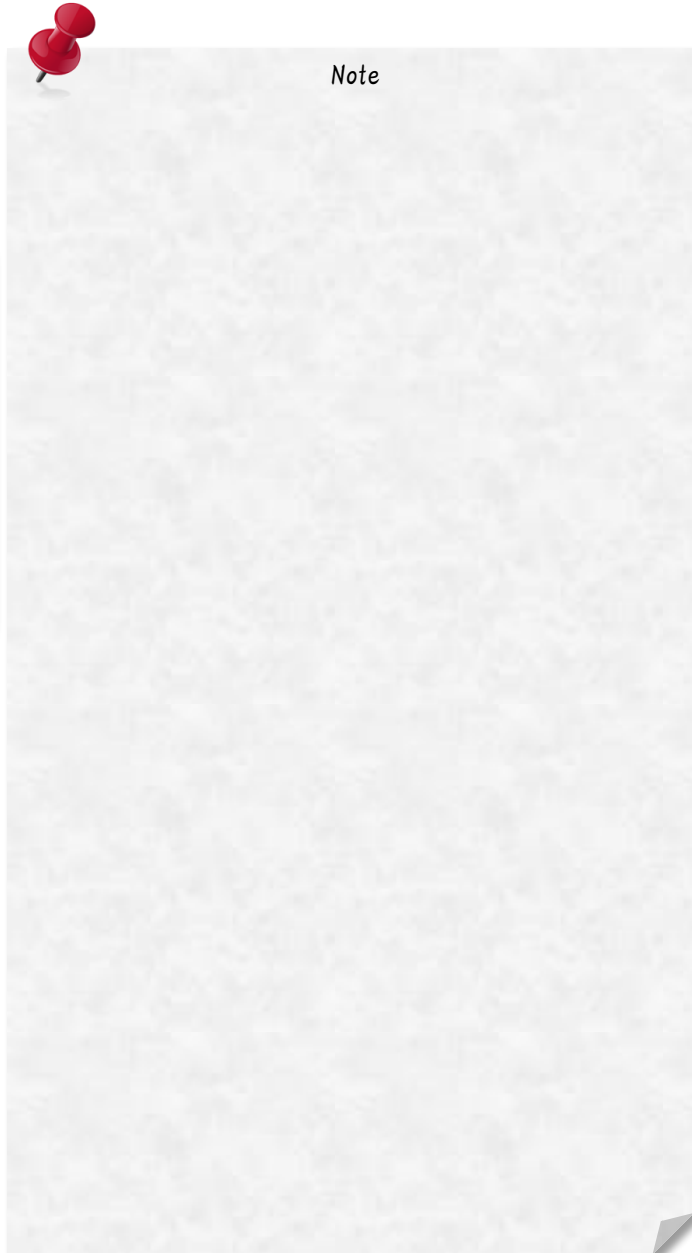


3.1 属性傾向

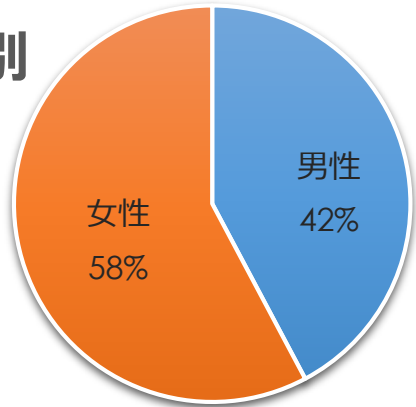


質問投稿者の属性傾向

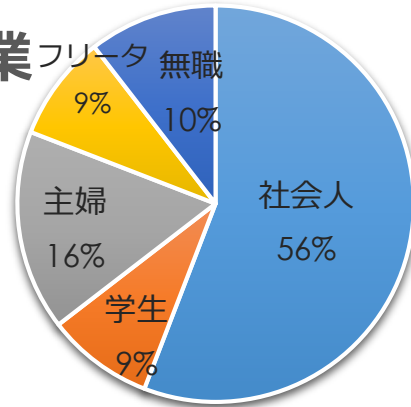
全体傾向と比べ、女性、主婦・社会人、30代以上が多い。



性別



職業



年代

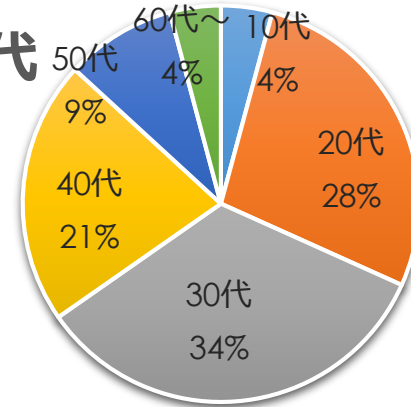
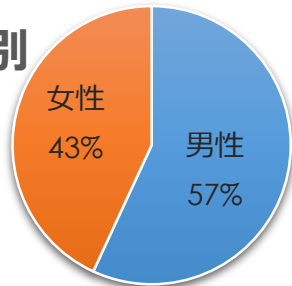
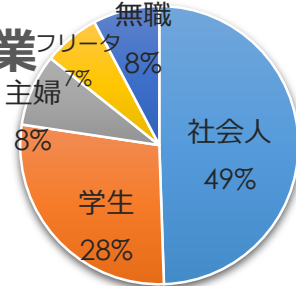


Figure 3.1.1 : 質問データ属性傾向

性別



職業



年代

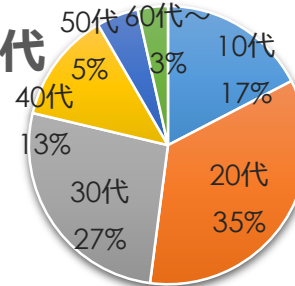
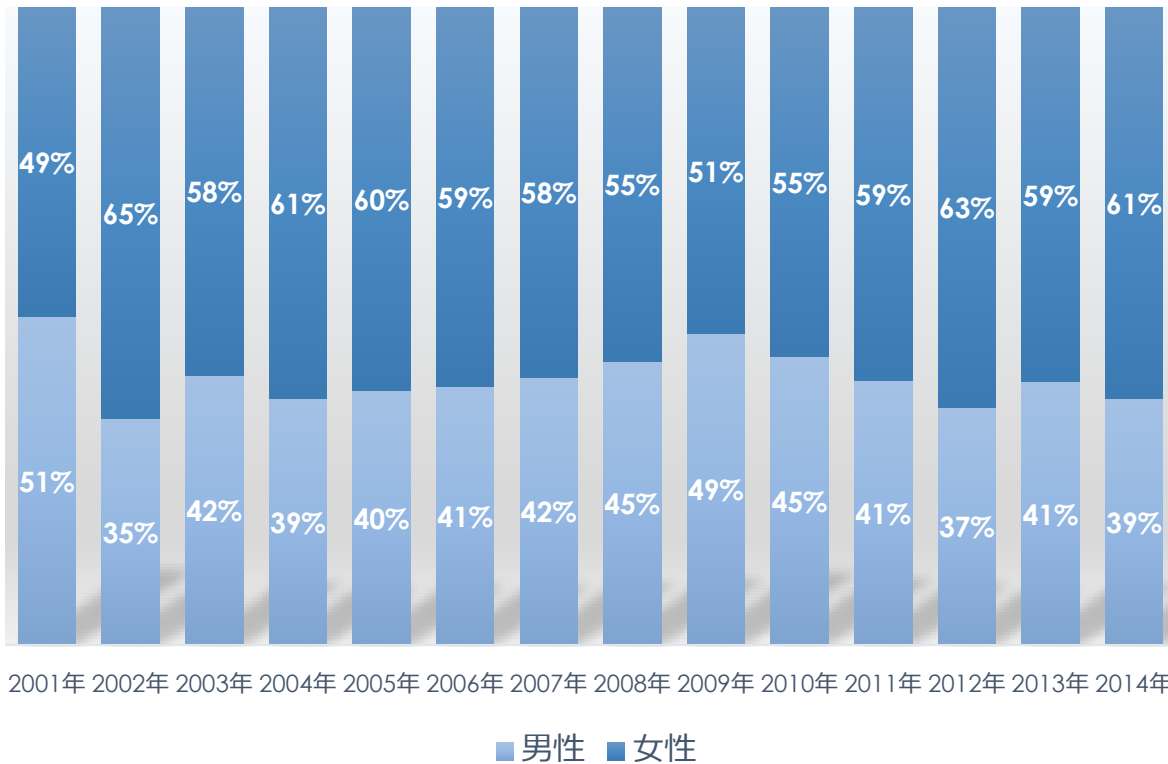


Figure 3.1.2 : OKWave全質問データ属性傾向

男女比率推移

質問投稿者男女比率の年別推移

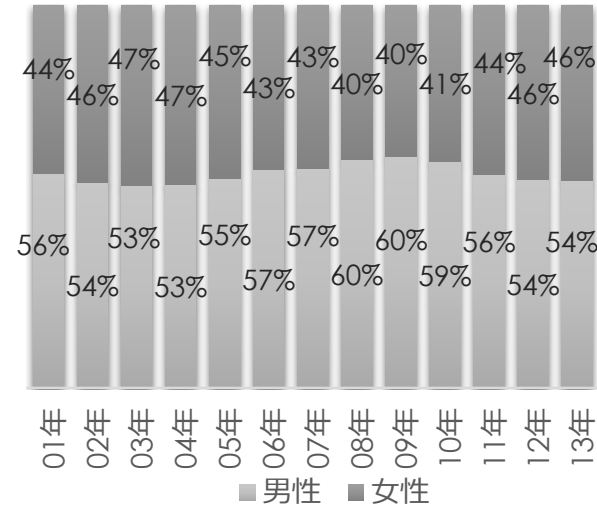
2009年以降、全体傾向以上に女性比率が増加。



2001年 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

■ 男性 ■ 女性

Figure 3.1.3 : 質問投稿者性別比率推移

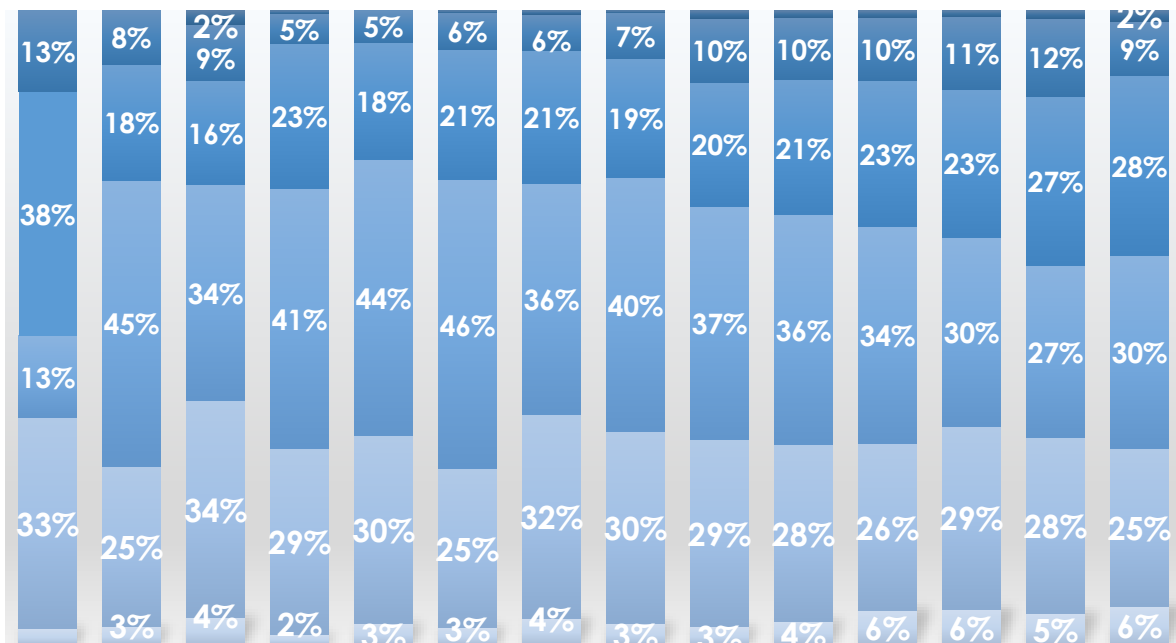


【参考】 OKWave全質問性別推移



質問投稿者の年代比率の年別推移

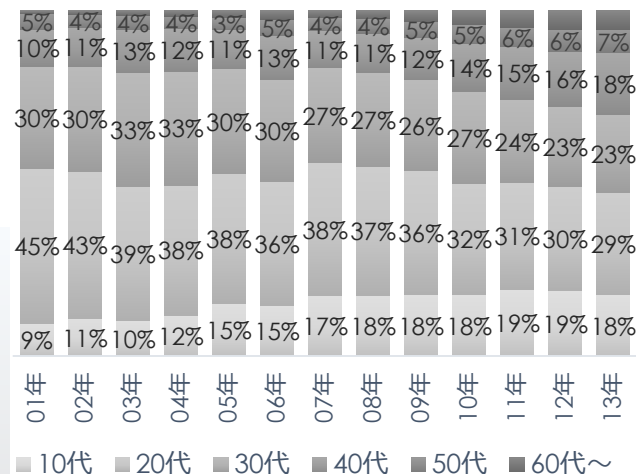
常に30~40代がマジョリティとなっている。



2001年 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代~

Figure 3.1.4 : 質問投稿者年代比率推移



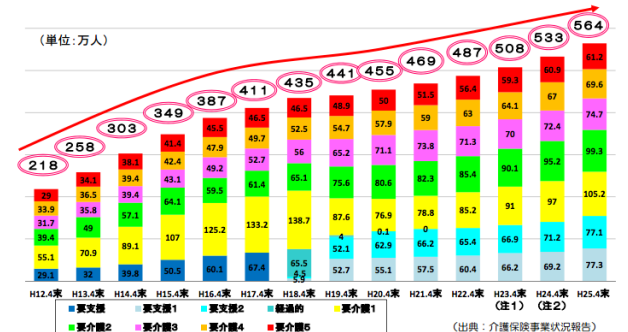
【参考】OKWave全質問年代推移



Note

要介護度別認定者数の推移

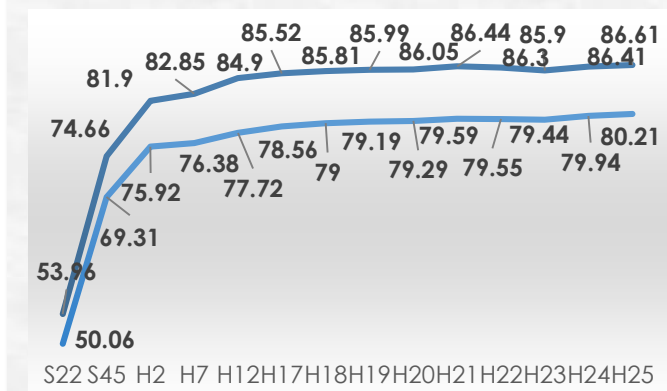
要介護(要支援)の認定者数は、平成25年4月現在564万人で、この13年間で約2.59倍に。このうち軽度の認定者数の増が大きい。また、近年、増加のペースが再び拡大。



注1) 陸前高田市、大船町、交川町、桑折町、広野町、榎原町、富岡町、川内村、大船町、双葉町、浪江町は含まれていない。
注2) 榎原町、富岡町、大船町は含まれていない。

出所：厚生労働省資料

日本人平均寿命の推移



出所：厚生労働省資料

Q & A には発見がいっぱい!

3.2 時系列推移



Note

質問数季節変動

質問数の月別累計

 質問の増減傾向に大きな特徴はみられない。

質問数

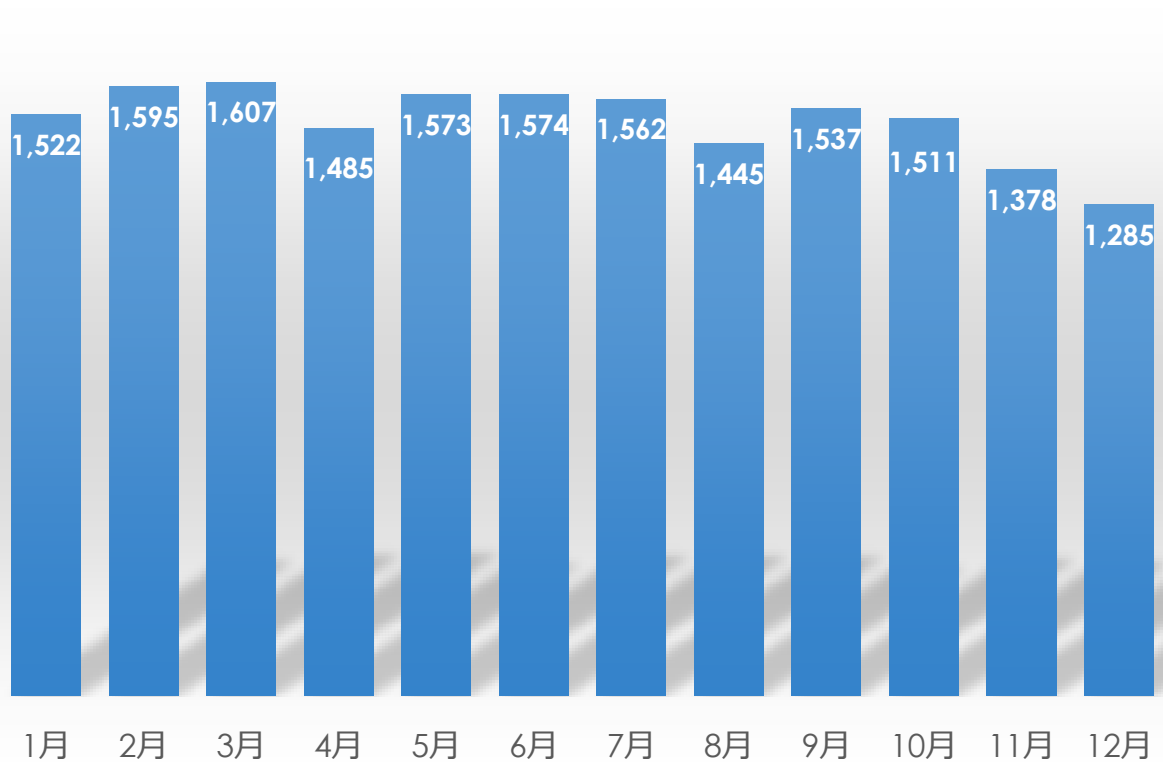
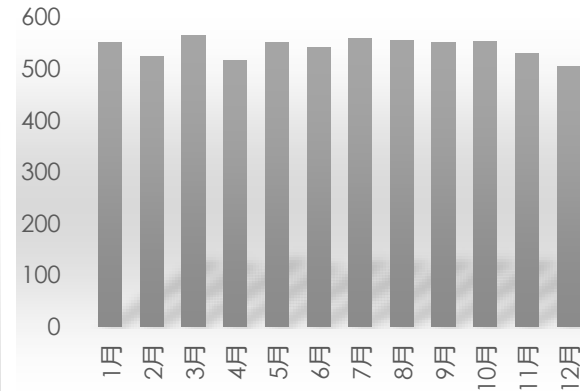


Figure 3.2.1 : 質問データ数月別累計

質問数(千件)



参考:OKWave全質問データ数時系列累計

Note

※2013年以前のデータで調査

3.3 簡易集計



不安・悩みを感じる対象

「不安・悩み」と共起する頻出ワードランキング

「父」よりも「母」に関する質問が多い。

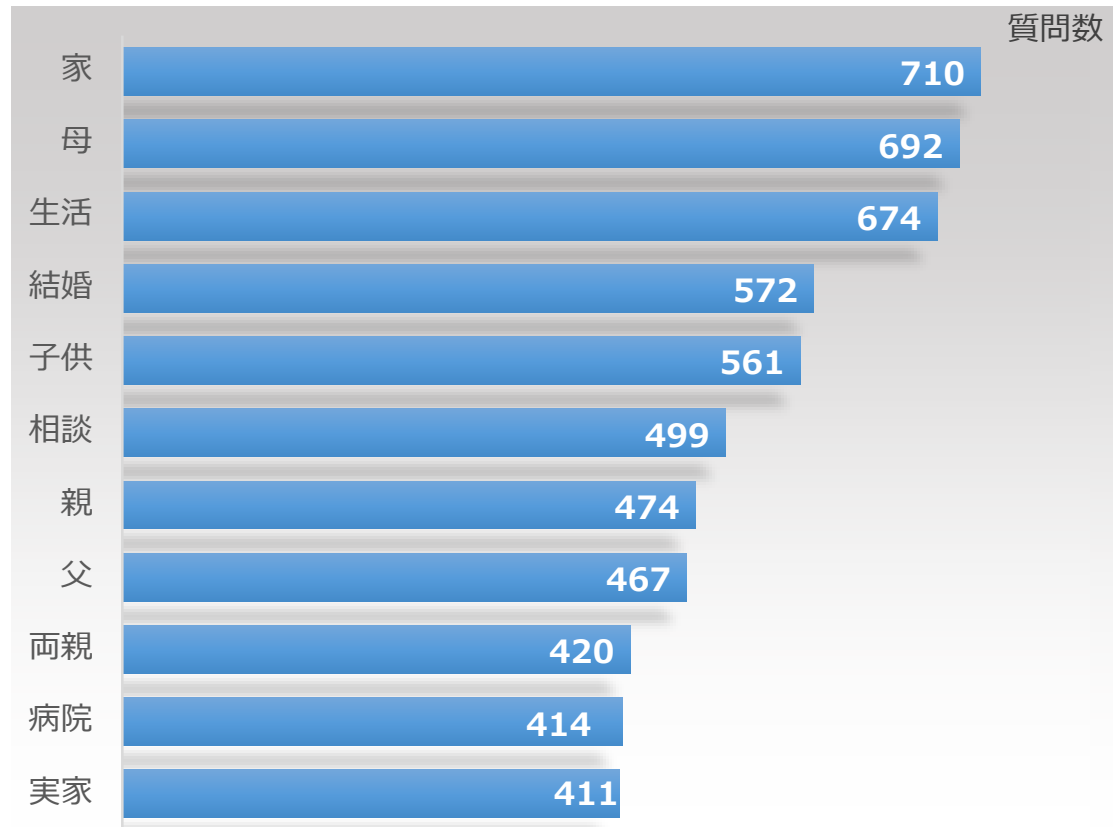
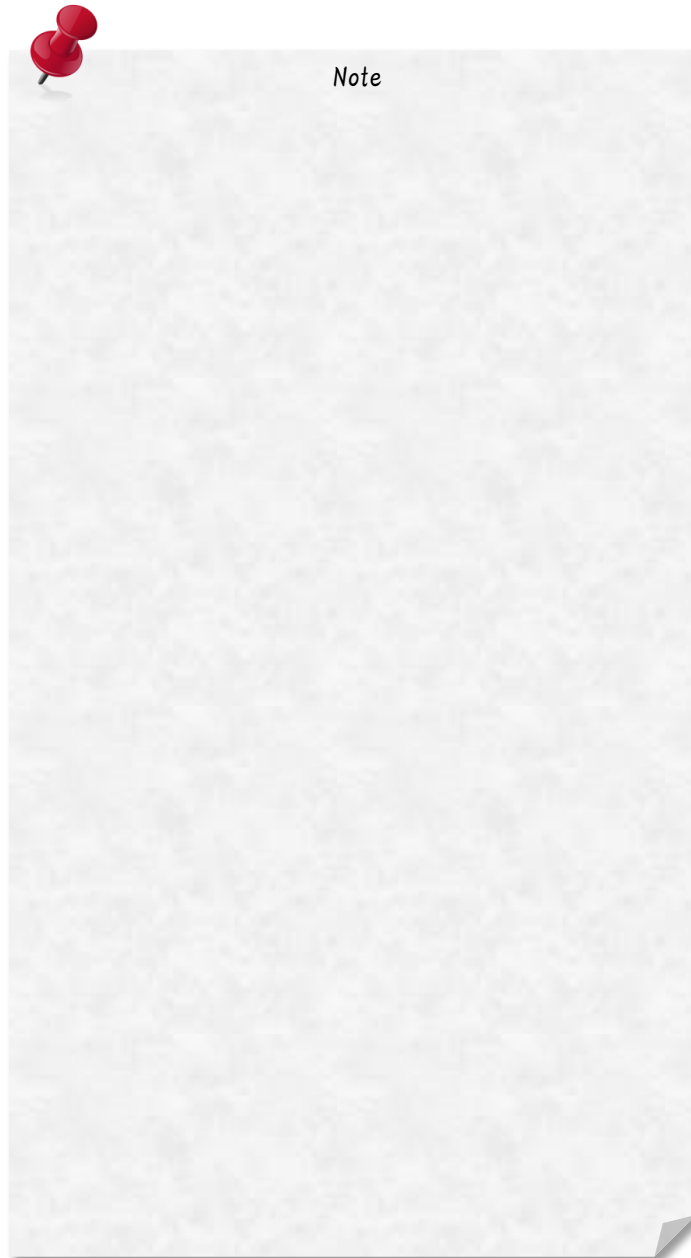


Figure 3.3.1 : 悩み関連ワード出現質問数



Q & A には発見がいっぱい!

OKWave総合研究所

男女別の傾向の差異

男女各質問投稿者が用いる頻出ワードランキング

男性は「施設・保険」が上位。

男性

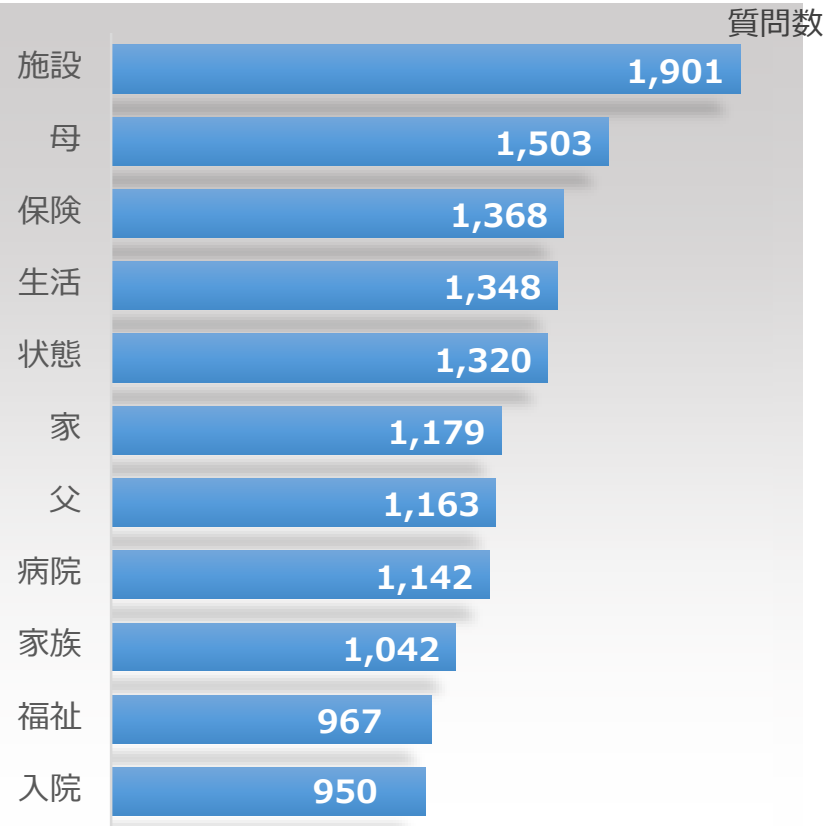


Figure 3.3.2_1 : 男性頻出ワード

女性

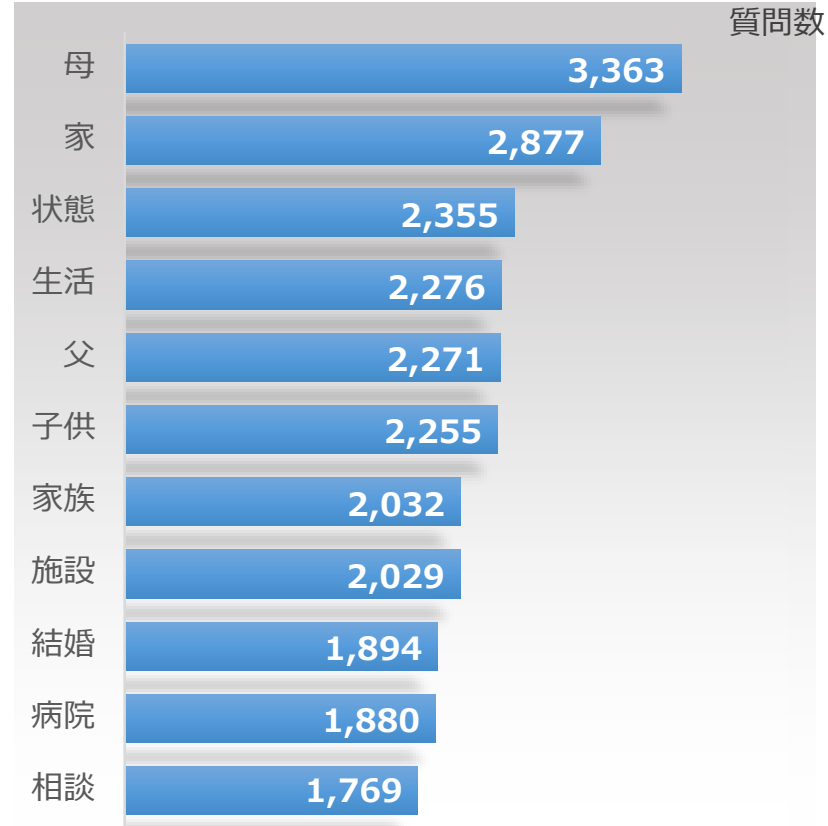
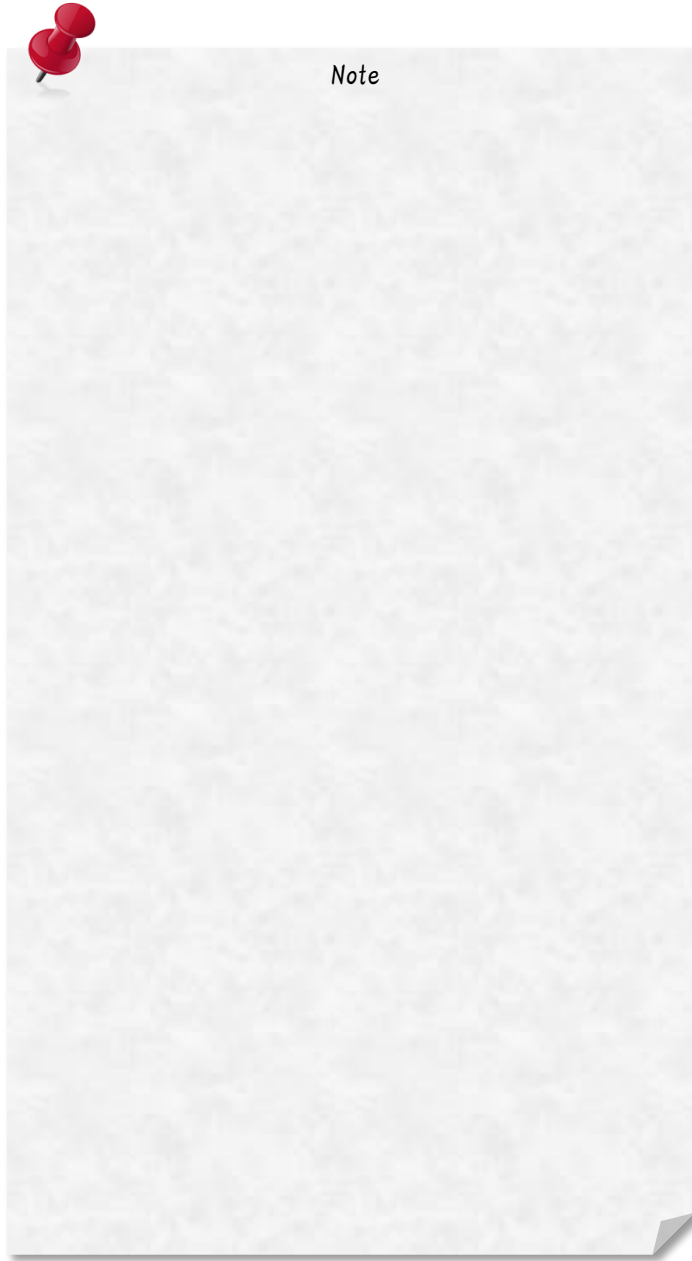


Figure 3.3.2_2 : 女性頻出ワード



4.1 キーワード分析



Note

- ◆ キーワード分析は、ある特定のキーワードについて、関連するワードや話題を調査することで、ユーザが製品やサービスに対して持つ悩み・要望・疑問点などを明らかにすることを目的としている。
- ◆ 本セクションでは、質問内容の全体傾向に加え、「施設」「ケアマネージャ」「認知症」および、男女の傾向の違いについて分析した。
- ◆ 「施設」についての分析では介護者が適切な施設を見つけられず悩んでいる様子が見られた。
- ◆ 男女間の違いでは、男性と女性では介護対象として捉えている人に違いがあり、結婚にまで影響を及ぼしている傾向が確認された。
- ◆ 「ケアマネージャ」についての分析では、介護者が、サービスや施設の多様性などから、適切な選択ができていない様子が見られた。
- ◆ 「認知症」についての分析では、他の症状にない介護者の悩みが抽出された。

質問で使われているワードの関係性を可視化



「施設」「介護認定」「保険」「認知症」「結婚・不安」「デイサービス・利用」などが繋がっている。

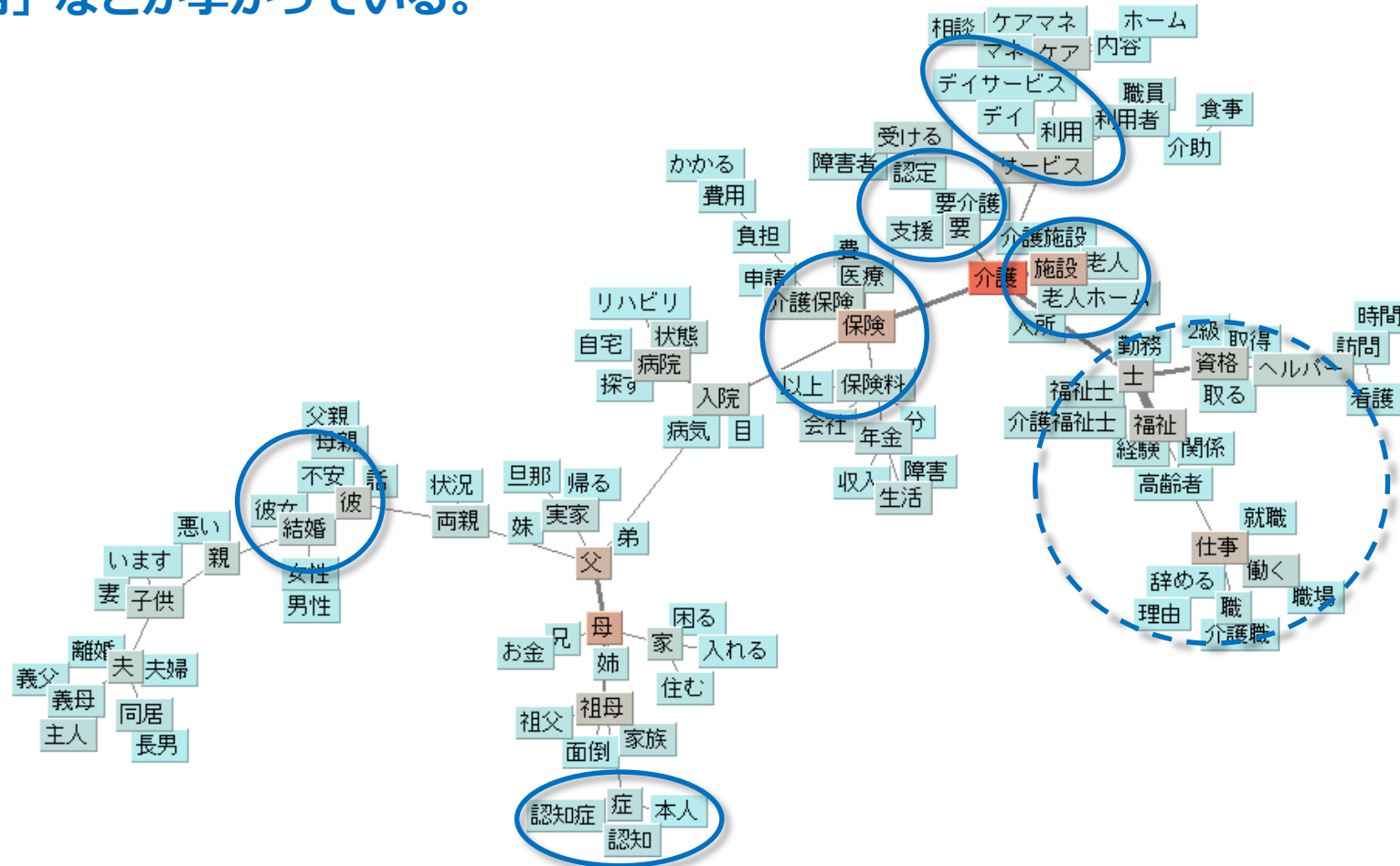


Figure 4.1.1 : 質問ワード関係図



「施設」や「保険料」に関する質問から「結婚」に至るまで幅広く悩みを抱えている。



Note

◆ 「資格・就職」関係のデータも存在するが、本レポートでは「家族の悩み」にフォーカスした分析を行う。

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色 < 灰色 < 赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

「施設」に関する質問・疑問

「施設」関連の質問で使われているワードの関係性を可視化

「入居」「入れる」「入所」「探す」などが出現している。

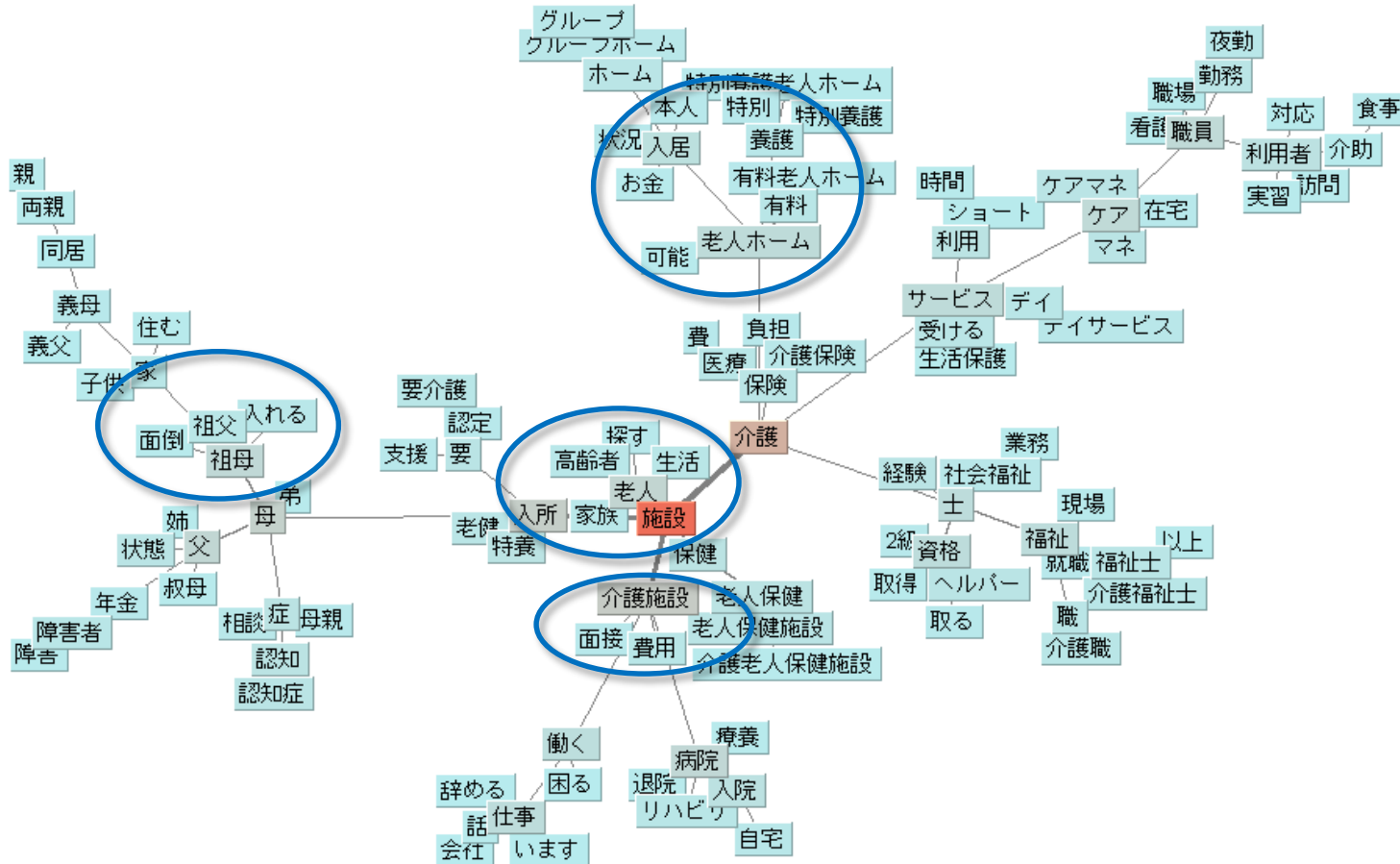


Figure 4.1.2 : 「施設」関連質問ワード関係図



Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

適切な入所施設探しに苦労している様子が見られる。

Q & A には発見がいっぱい!



「施設」 関連質問データ

介護保険施設について。現在、父が介護老人保健施設に入所しております。父は、現在57歳です。脳梗塞を発症し、脳血管性認知症です。**（要介護2）** 今月（2011.1月）中にその施設を退所し、次の施設を自力で探さなくてはなりません。自宅には祖母も寝たきりの状態で母が介護をしています。母の負担を考えると、自宅に戻すことはできません。しかし、施設には待機者が大勢いて、すぐに入所するのは困難かと思われます。そこで皆さんに質問です。・この状況でも退所されて、自宅に帰ってきて他の施設の入所待ちとなるのでしょうか？・他に入れるような施設がありましたら教えてください。（経済的に余裕がないです。毎月いっぱいいっぱいです...経済的に負担の少ない施設を希望しています。） よろしく願いいたします。

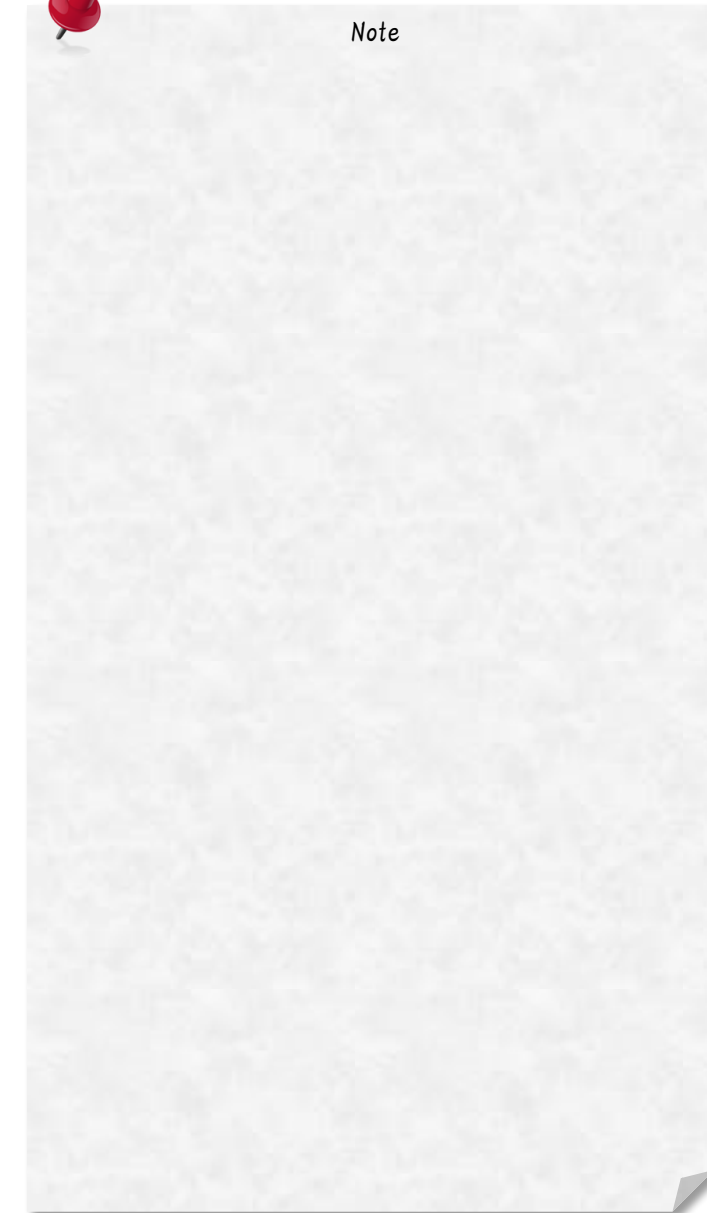
老人や痴呆の施設について教えてください。高齢者で知り合いで今少し痴呆がある方がいます。いま自宅でなくどこかの施設にお世話になる話をしていますが**どんな施設があつてどんなサービスを受けられるのかまたお金はどのくらいかかるのか皆目わかりません。**そこでどんな施設でどんなサービスがありおおよその料金を教えていただけないでしょうか？（私が今知っているだけの単語として、老人ホーム、介護施設、老健施設 グループホームくらいなものです内容は知りません） よろしく願いします。

待機人数の少ない特別養護老人ホームを探してます。今現在、（特別養護老人ホーム以外の）介護施設に入所している母がおり、月々の費用がたくさんかかるため（20万前後）なるべく費用を抑えるべく別の施設を探しておりますが、**自宅（埼玉）近隣の施設ですと100～200人待ちといわれてしまい入所できる目処が立ちません。**このままですと費用を賄えなくなってくる事は目に見えておりなんとかもっと費用のかからない施設がないかと探しております。自宅からの距離にこだわらないとして、比較的待ち人数の少ない地域というのはあるのでしょうか。ご存知の方がいらっしゃれば教えて頂ければと思います。

Table 4.1.1 : 「施設」 質問データ



Note



男女の介護に対する姿勢の違い

男女それぞれの質問で使われているワードの関係性を可視化・比較

男性は「保険料」「施設」などが、女性は家族に関連したワードが出現している。

男性

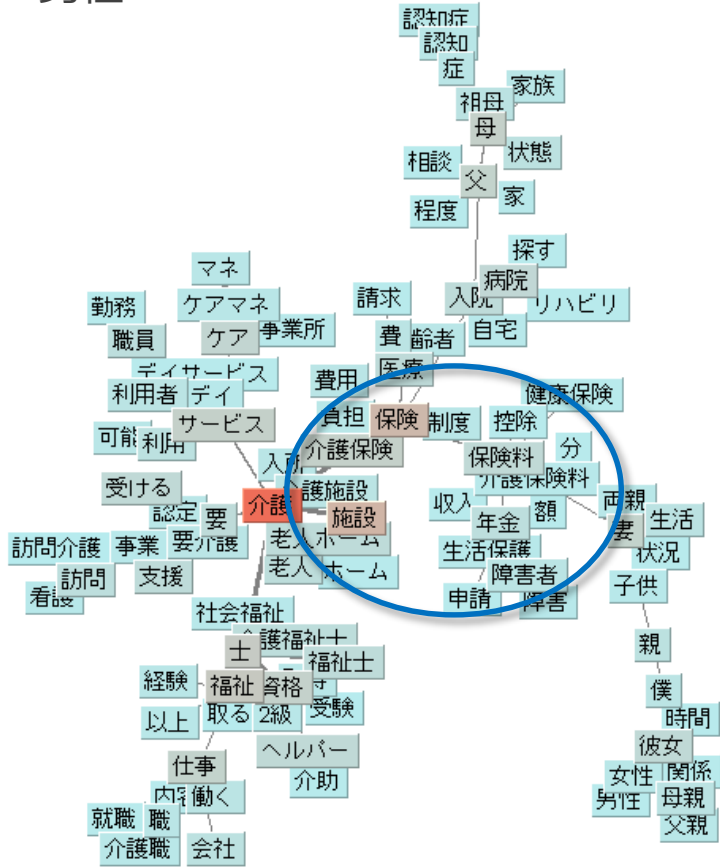


Figure 4.1.3_1 : 質問ワード関係図(男性)

女性

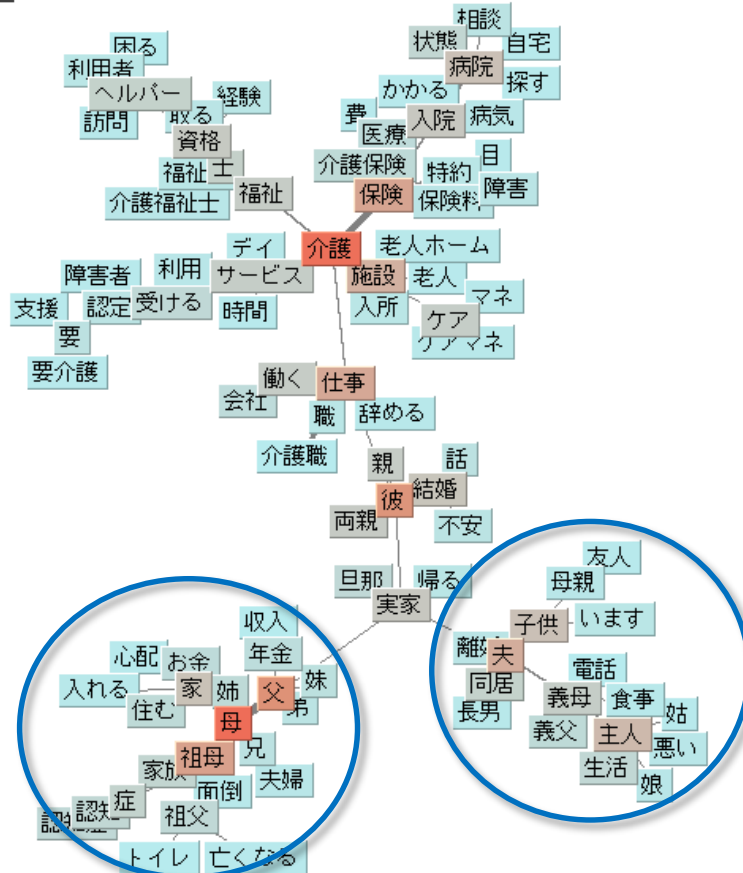


Figure 4.1.3_2 : 質問ワード関係図(女性)

Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

義父母の面倒を見なければならぬことに対するストレスなどで女性は疲れている可能性が高い。

「結婚」に関する傾向

「結婚」の記述がある質問で使われているワードの関係性を可視化

「別れる」「不安」「嫌」などネガティブなワードが出現している。

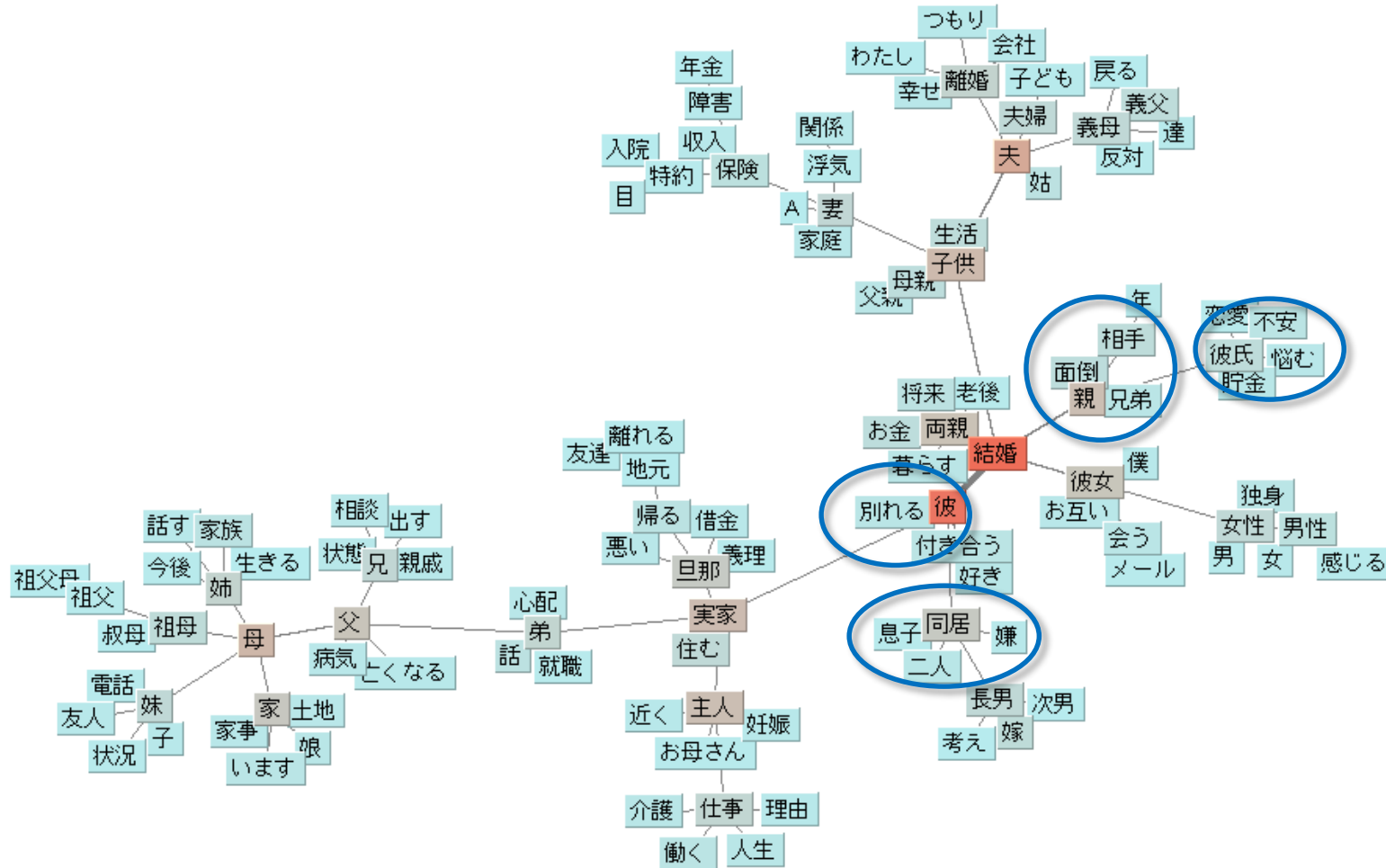


Figure 4.1.4 : 「結婚」関連質問ワード関係図

Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

考察 結婚を考える際にも、「介護」の必要性がハードルの一つになっていると思われる。

結婚関連質問の投稿者

「結婚」に関する記述をしている投稿者の男女比率

全体傾向よりも輪を掛けて女性が多い。

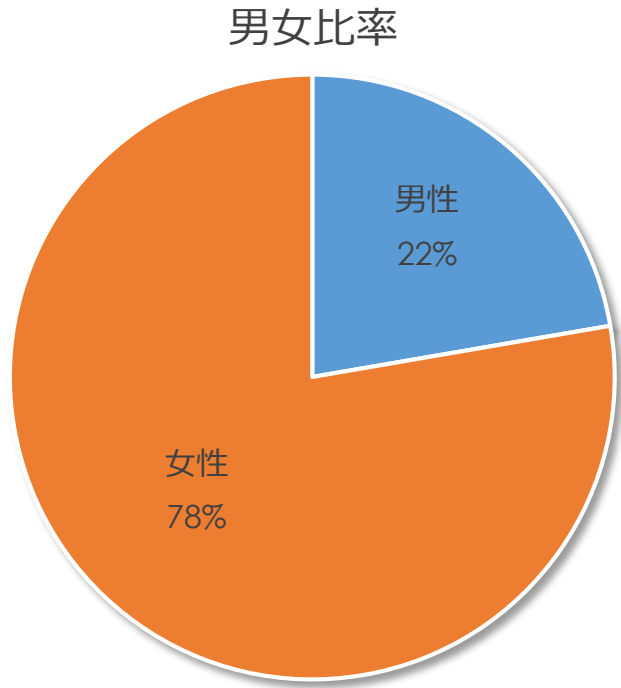
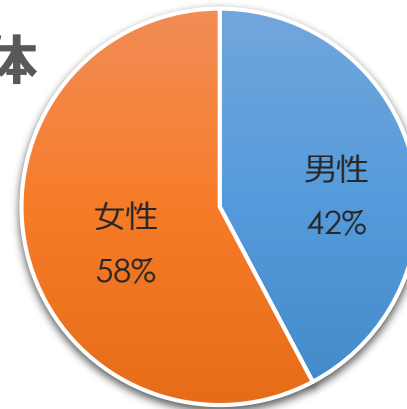
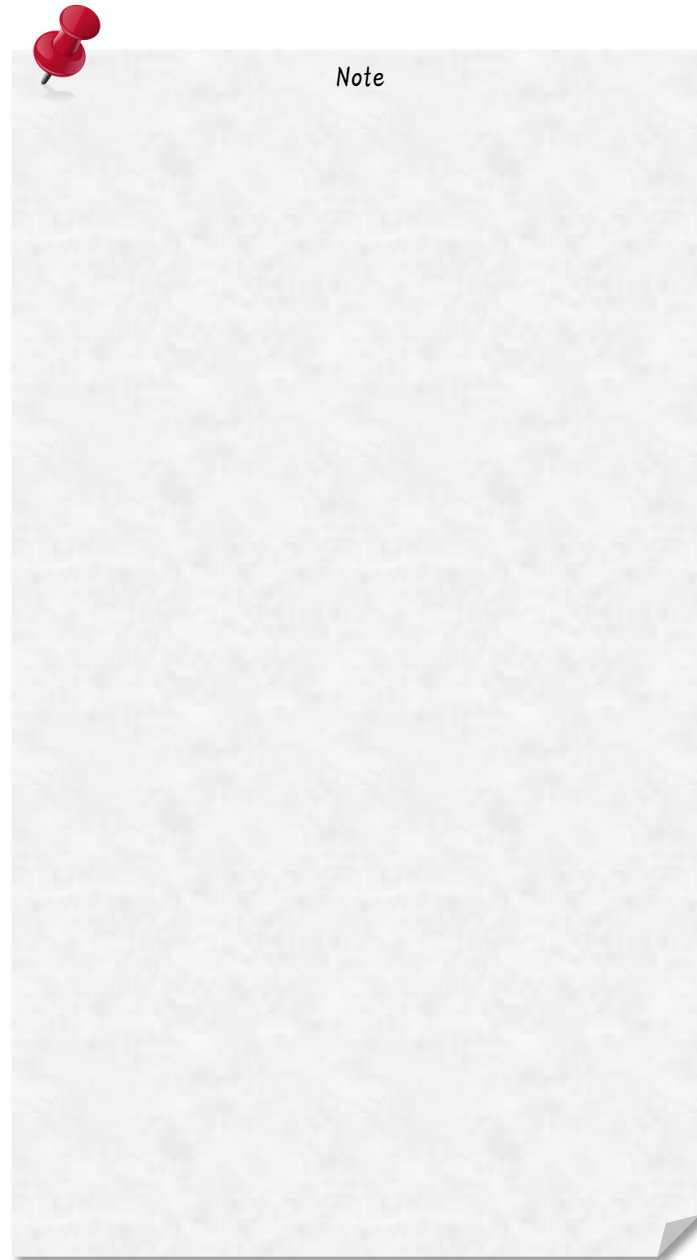


Figure 4.1.5 : 「結婚」関連投稿者男女比率

全体



【参考】 : 「介護」関連投稿男女比率

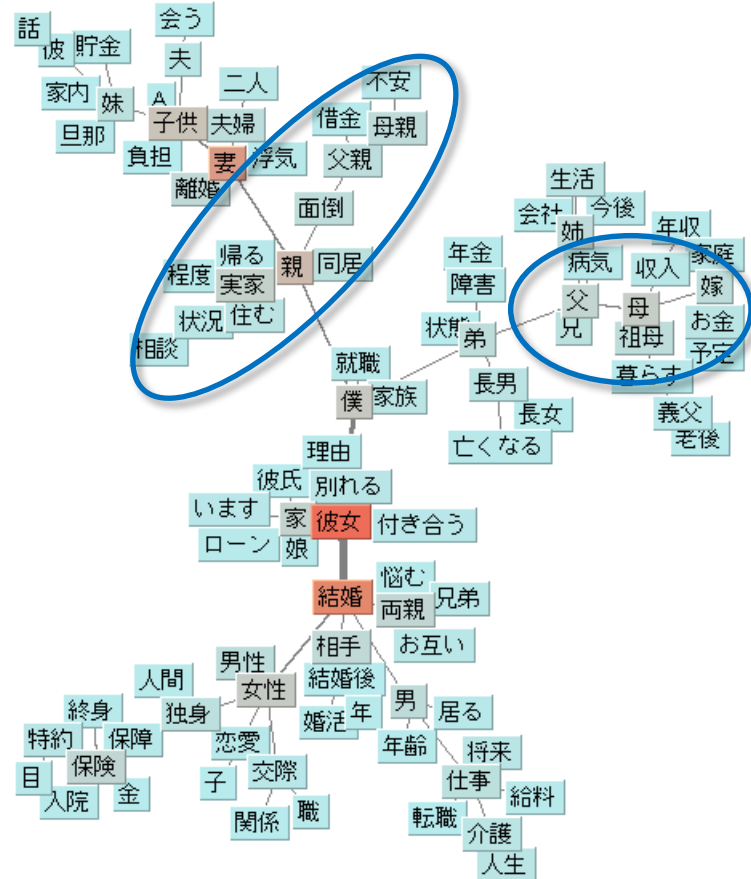


結婚に対する男女の意識の違い

「結婚」の記述がある質問で使われているワードの関係性を可視化・比較

女性側には「義父」「義母」などのワードも頻出している。

男性



女性

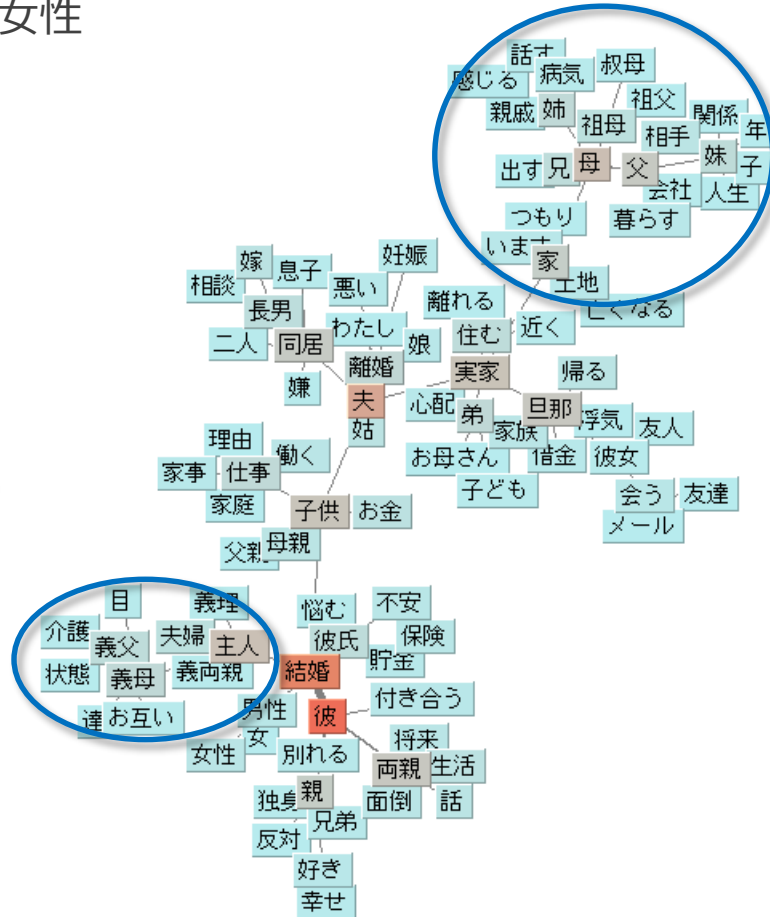


Figure 4.1.6_1 : 「結婚」関連質問ワード関係図(男性)

Figure 4.1.6_2 : 「結婚」関連質問ワード関係図(女性)

考察 女性は義両親だけでなく、実家の自分の両親についても考えており二重苦を感じている。少子化で実・義両親を考慮しなければならない⇒結婚が遠のく⇒少子化がさらに進むという負のスパイラルが発生している可能性が高い。

Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード



「結婚」 関連質問データ

婚をひかえて・・・。今秋に結婚を控えている30歳の女性です。結婚を機に会社をやめ彼の家に入ります。義母は昨年脳出血で倒れ麻痺がのこりました。重度の障害が残りました。**自宅介護となります。正直結婚の喜びより介護の日々のことで頭はいっぱいです。**彼の妹とその子供1歳とも同居となります。**正直このさき結婚をしても二人の時間はほとんどなくなります。実際介護してみても睡眠不足などで疲れてしまっているのも事実です。何度か別れもかんがえましたが、やっぱりできませんでした。彼を支えていきたいとおもっています。愛情もありますが、情のようなものもまるように思います。このような状態で結婚に踏み切っているのでしょうか。**

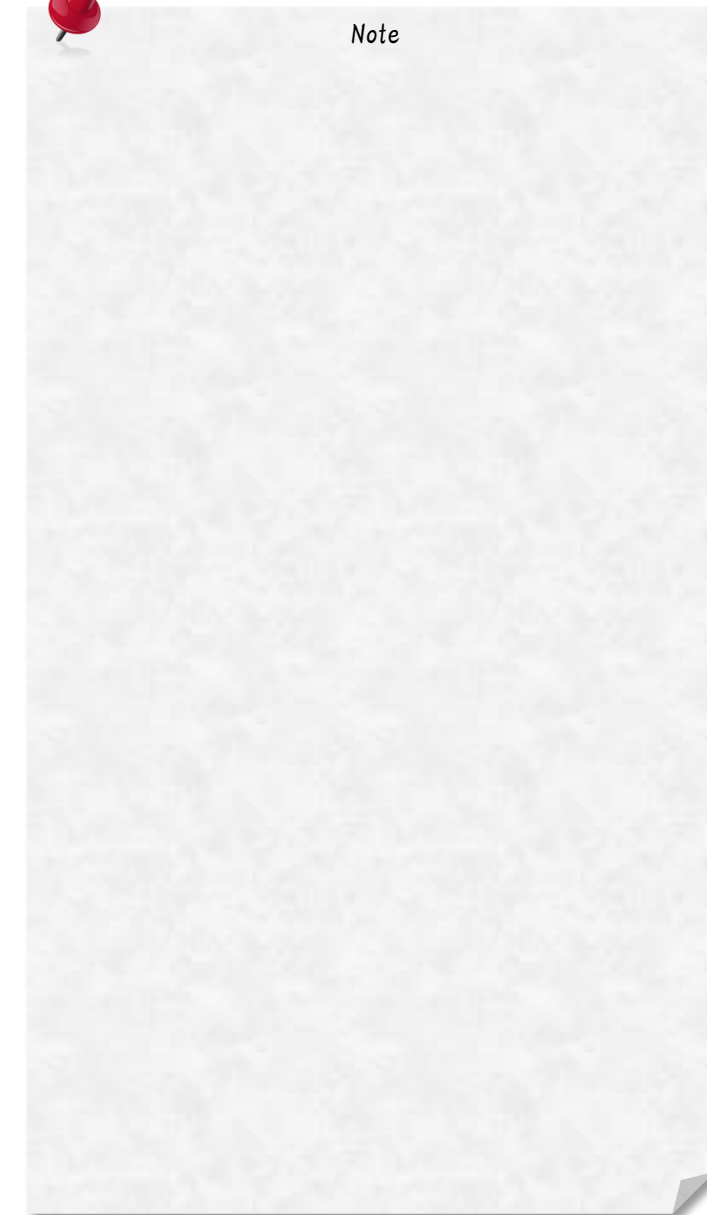
30代後半の女性です。親に「結婚しろ!!結婚しろ」と五月蠅く言われます。私は、小学校の頃から男性から醜い酷い扱いしか受けたことが無く恋愛も結婚もしたくありません。**結婚して、旦那の面倒や子供も産みたくない、旦那の親の面倒や介護もしたくありません。**私を散々、差別や見下して来たくせに...自分の身の回りの世話をしろと思っているので...結婚ってしないといけませんか？

覚悟の上で結婚なさるんですか？**結婚したら自分の両親だけでなくお相手のご両親の介護も将来担うことになるんですよ？既婚者の方はそのへん覚悟の上で結婚なさるんですか？**それともなんとかなるさーって思って結婚なさるのでしょうか？最近、まだ60代だから大丈夫だと思ってた友人の親が認知症になり、早くも家庭内がゴタついているようです。親が若いとそのへん気にせず結婚するのかなって疑問に思ったので質問しました。回答宜しくお願い致します。

Table 4.1.2 : 「結婚」 質問データ



Note



「デイサービス」に関する傾向

「デイサービス」の記述がある質問で使われているワードの関係性を可視化

「ケアマネージャ」の探し方や「ショートステイ」の費用に関する質問が多い。

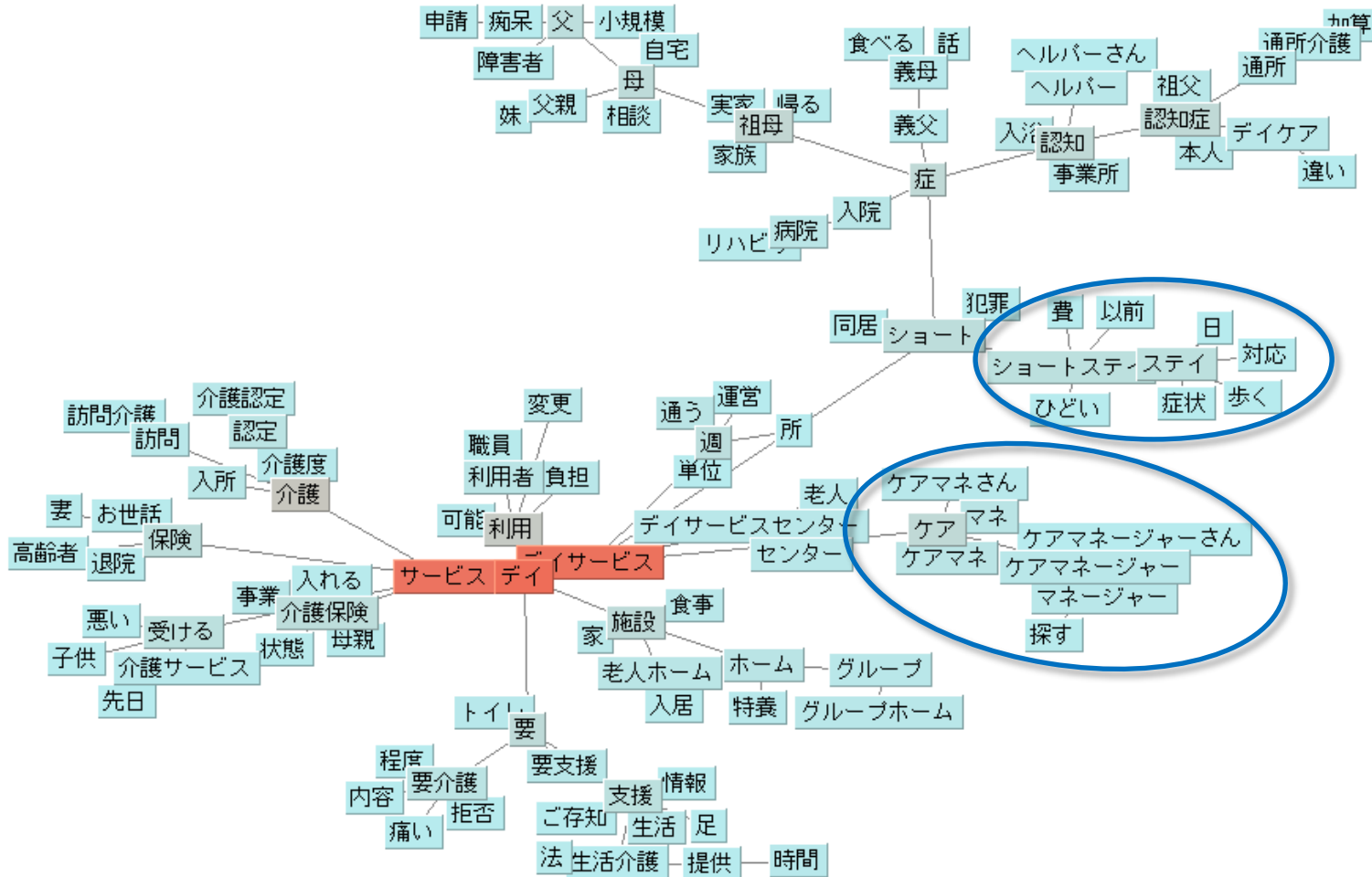


Figure 4.1.7 : 「デイサービス」関連質問ワード関係図

Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

ケアマネージャやデイサービスの探し方についての情報提供にニーズがある。

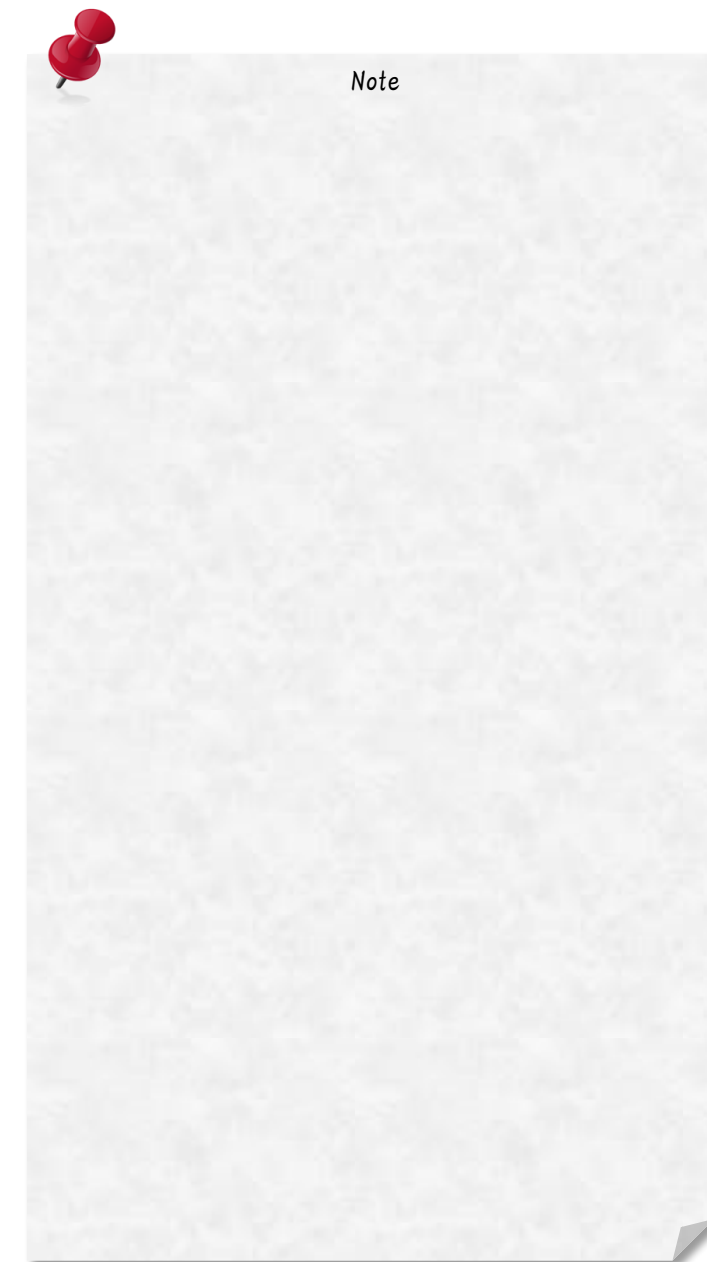
「ケアマネージャ」関連質問データ

デイサービスの選び方について。デイサービスの選び方についてですが、実際に利用されたことのある方（ご家族含む）、利用している方（ご家族含む）はどのようにデイサービスを選びましたか？担当のケアマネージャーさんからの紹介でしょうか？自分で母親に合うようなところを探してみたいなと思っているんですが、やはり担当のケアマネージャーさんを通さなければいけませんか？

ケアマネージャーについて。父が認知症になりました。父の介護申請は受理され、介護2でした。母は目が悪く障害者手帳を持っています。視野はせまく、夜は基本歩くことができません。色の判別があまりつきません。あと、ボールペンなどで書いた文字も見えにくいそうです。母の介護申請はしようと思っていますが、まず父のケアマネージャーを探そうと思っています。デイサービスやヘルパーさんなど雇いたいのです。病院に相談するとケアマネージャーを紹介されました。ですが、紹介された人と母は合いそうにありません。それも隣の市担当の人でした。なぜ、隣の市をケアマネージャーを紹介されたのかわかりません。両親が住んでいる市はいくつも区があるところで、いくら隣の市と言っても少し離れたところですよ。自分でケアマネージャーを探すとするとどうやって探せばいいのでしょうか？市役所ですか？初めてのことばかりなので、困っています。よろしくお願いします。

ケアマネの探し方。ケアマネージャーさんを探す方法といえは良いのでしょうか、地域に居宅介護支援センターがあると思うのですが、良いケアマネージャーさんを探す方法？皆さんはどのようにされているのでしょうか。自宅の近所には二つありまして、少し離れるとまた更にあります。デイサービスを探すのはケアマネージャーさんからの情報やネットや実際に見たり、体験したり出来ると思いますがケアマネージャーさんを探す時は、皆さんはなるべく自宅から近所で探しているのでしょうか。また評判とか聞いたりして探しているのでしょうか。場所見て、近所にあるなーと思いつつ、そこはなんとなく雰囲気的に陰気を感じるというか土地というかなんとなく気が進まないなと思う所は止めようかと思いますが、例えばそのケアマネージャーさんのいるビルが綺麗だとかそんなところまで見てさがしているのでしょうか。相談するのに、まずは電話をしてから行けばよいのでしょうか。電話をして対応の感じで行ってみてお話ししてみ、お話しした段階でお願いすることになるのか考えますと言って帰って来ることでもできるのでしょうか。皆さんはどのように選ばれたのか、手順とかうちはこんな風にして探したんですとか経験を教えていただきたいです。明日明後日にでも探したいのでよろしくお願いします。

Table 4.1.3 : 「ケアマネージャ」質問データ



「認知症」に関する傾向

「認知症」の記述がある質問で使われているワードの関係性を可視化

「母」「祖母」等の母方関連や、「通帳」といったワードが出現している。

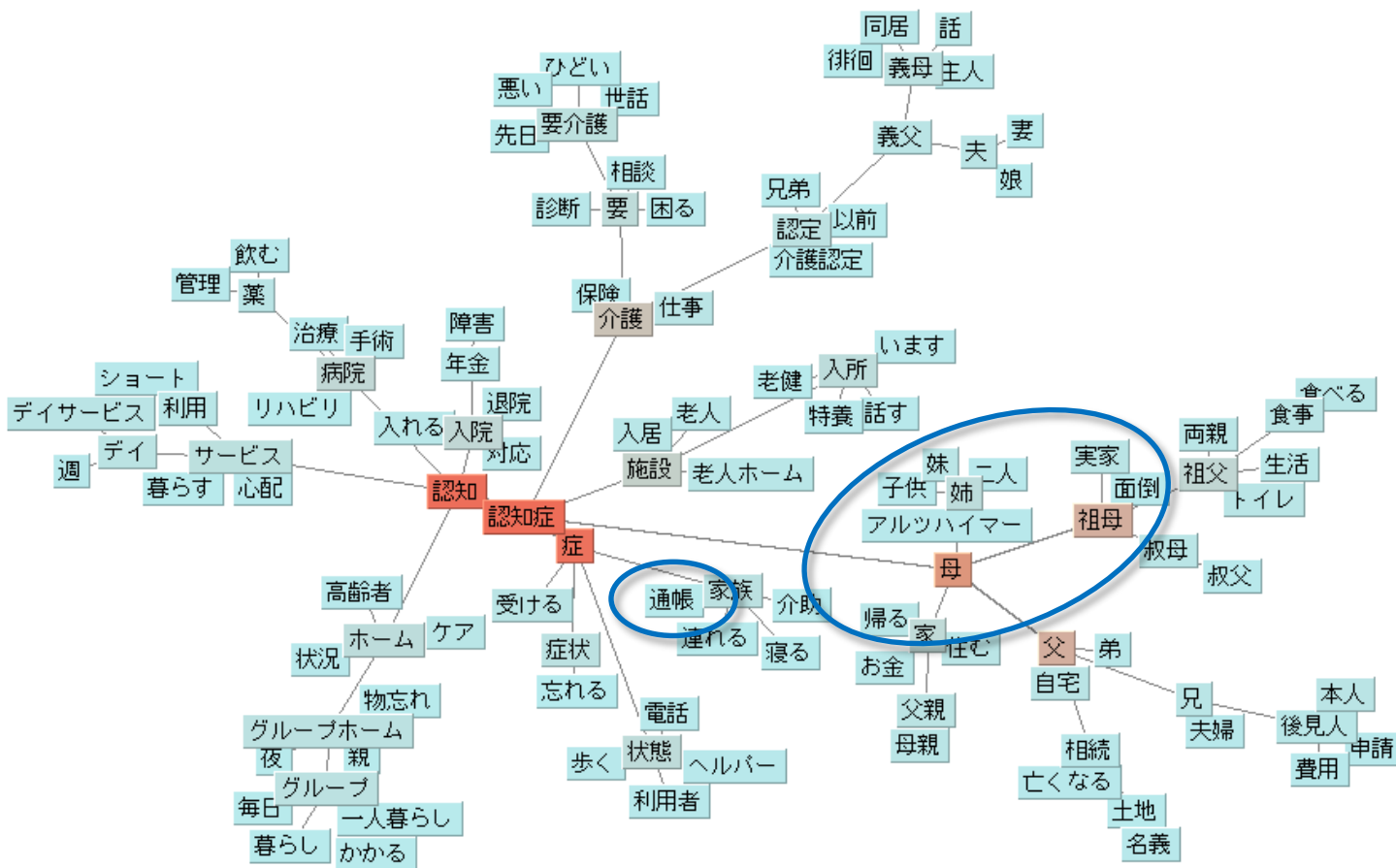


Figure 4.1.8 : 「認知症」関連質問ワード関係図



Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

「通帳」関連質問データ

要介護者が通帳を見失うことに伴うトラブルが多い。

「通帳」関連質問データ

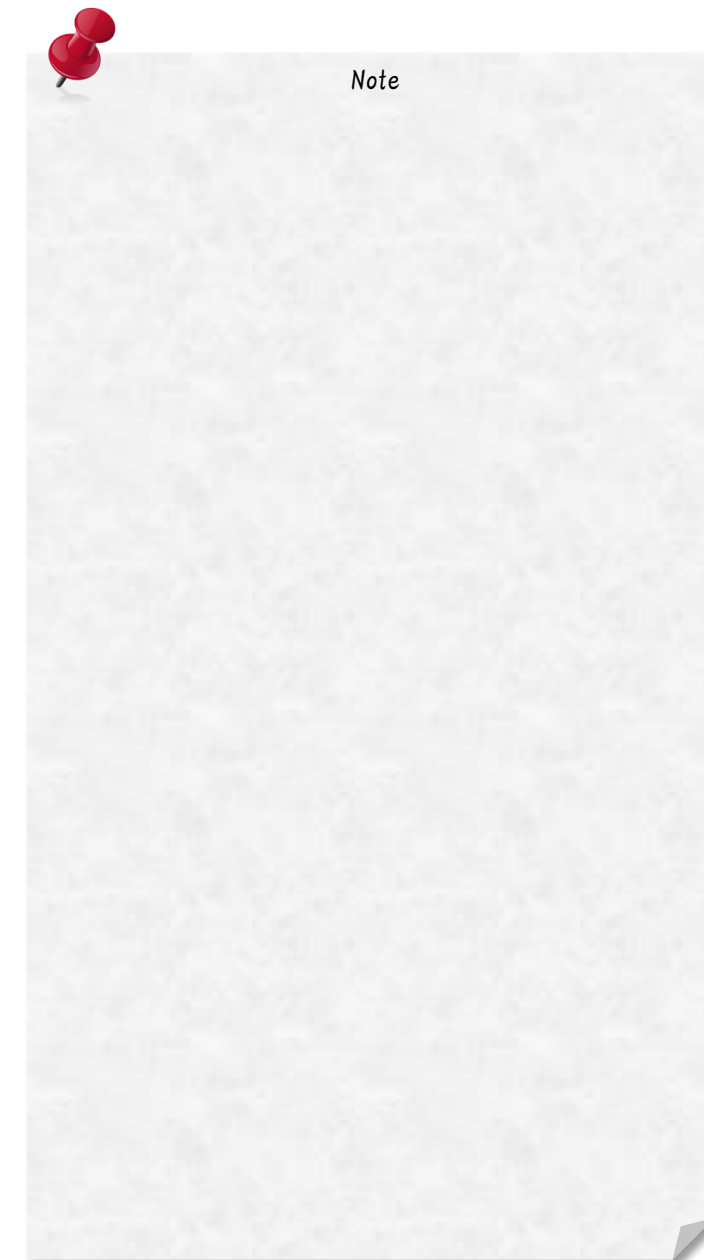
認知症 泥棒扱い。わかる方教えてください。今うちには認知症の義母80歳がいます。普段の生活はまだしっかりしていてちょっとした物忘れ(言ったこと・日付など)があるのと物盗られ妄想がすごいです。で本題なんです物盗られ妄想がすごくて特に通帳・お金類がいつもないと言いつつも「あなたが盗ったでしょ」と言われます。気になるとずっと気になって夜中だろうが何だろうが「私の通帳盗ったのあなたでしょ返して」と言われます。私はどう対象したら良いのでしょうか？対応調べると否定しないで同意しましょうみたいな事が書いてあって…。でも自分が疑われてるのにそんな事できないし。どうか教えてください

介護について。認知症の母への対応についての質問です。別居の義理の母が認知症で物忘れが有り最近『印鑑と通帳』をしまい忘れて妻の所へ毎日電話してきます。同居の姉が居るのですが、先妻の子供なので、気兼ねが有るらしく実の子供である私の妻へ所へ電話してきます。姉が取ったのではと考えている様子も有るらしいのですが、明らかに母のしまい忘れです。実際のお金の出し入れはキャッシュカードできるので問題は無いのですが、本人への受け答えにどうしたものかと困っています。本人に『なくすと困るから預かろうか』言ってもそれはどうしても嫌らしく納得しません。やはり本人が持っていないと安心しないようです。毎日のように『印鑑と通帳知らないか？』と電話してきます。認知症なので仕方がないと分かってはいるのですが、仕方の無い事なのでしょうか？何か良い対処法が有りましたら教えて頂けませんでしょうか？お願い致します。

通帳紛失届けについて。父は認知症で病気も患っており短期の介護施設に入っています。金銭管理は母がしています。父はお金に執着心があり手元に自分の通帳がないと、ぼけて入院先から銀行に通帳紛失したとTEL連絡したようです。そうとは知らない母が銀行に引き出しに行くのとホールドがかかっており引き出せない状態になっていました。寝耳に水の事でしたので母は動揺して逆に銀行から不審に思われたのではないかとそのまま帰って来ました。電話連絡だけの届出でしたので正式には紛失届けを出さないまま（父はずっと入院中）ほっておいたら銀行から正式の届出をするようにと言う旨の通知が郵送されてきました。通帳も印鑑も手元にあります。この場合本人を連れて行かないとホールド解除できないのでしょうか？母は父はぼけていて入院中なので銀行へ本人を連れて行くのもどうかと思案しています。成年後見制度とかも考えましたが手続きや費用も複雑そうでそこまでした方が良くどうかと考えています。とりあえず銀行手続きはどのようにすればいいのでしょうか？

Table 4.1.4 : 「通帳」質問データ

考 察 実・義理の親から泥棒扱い/思い込みによる行動から受ける心的負担は大きいと思われる。

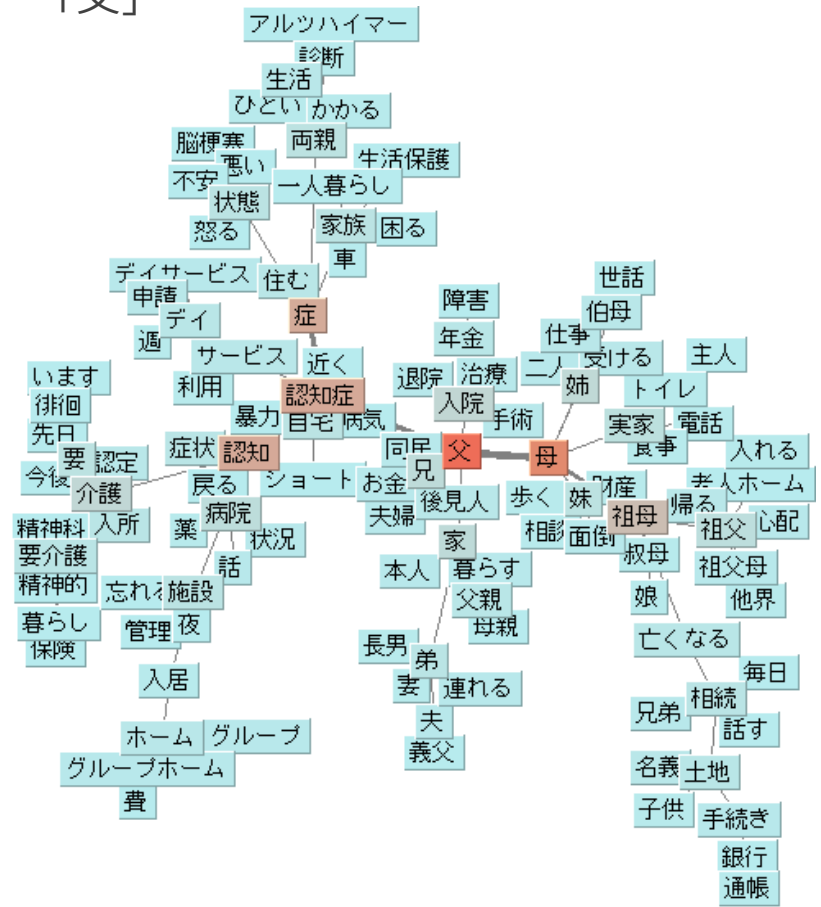


【参考】「父・母」の傾向の違い

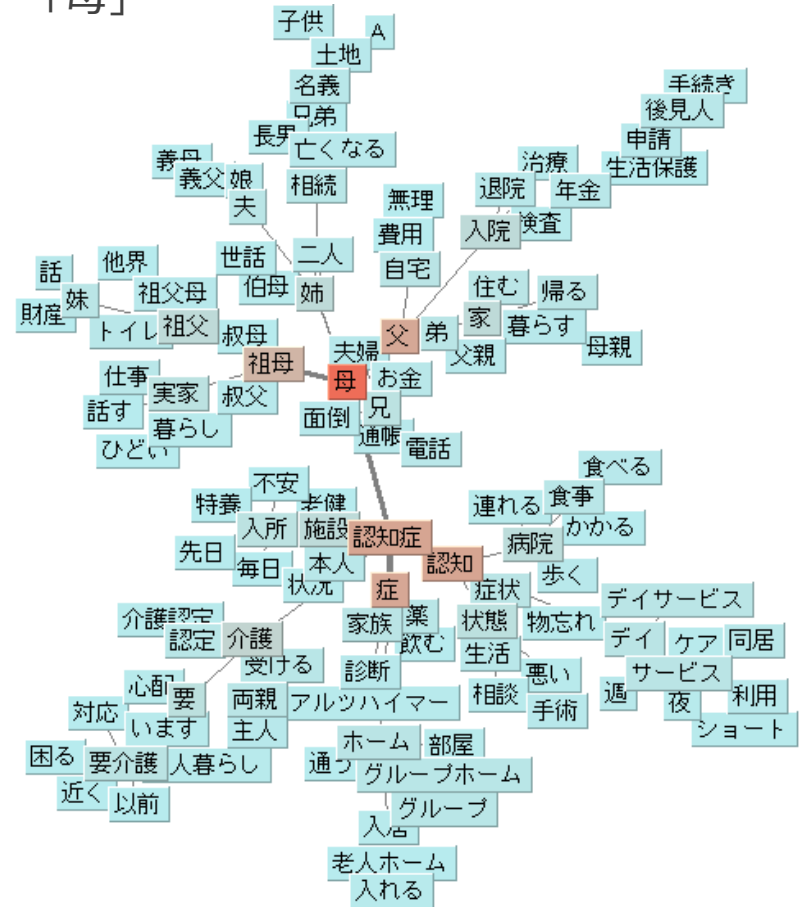
「父」「母」それぞれの記述がある質問で使われているワードの関係性を可視化

大きな特徴の違いは見られない。

「父」



「母」



Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

Figure 4.1.10_1 : 「父・認知症」関連質問ワード関係図

Figure 4.1.10_2 : 「母・認知症」関連質問ワード関係図

考察 平均寿命の長い分女性(母・祖母)に関連した質問が多くなっていると思われる、女性を対象にした介護サービス/製品の方が市場規模が大きい可能性が高い。

1. 少子化対策

介護への躊躇から結婚が遠のき、さらに介護者が減少してしまう可能性に歯止めをかけるべき。

2. 男性の意識改革

男性にも義父母の介護に関心を持たせることによって女性の精神的・肉体的負担を軽減する理解・努力をさせるべき。



4.2 追跡分析



Note

- ◆ 追跡分析は、お礼データを分析することで質問者が回答を受けてどのように意識・行動変化したかを把握すると共に、変化を促したキーワードを発見することを目的としている。
- ◆ 本セクションでは、お礼データを分析することで回答を受けた介護者(質問者)のニーズ・悩みについての把握を行った。
- ◆ お礼データの頻出ワード「相談」について分析を行ったところ、回答により相談相手が見つかったことに安堵する声が多数みられ、未だ相談相手の見つからない介護者に積極的にアプローチすることの必要性が示唆された。

お礼データの内容

お礼データで記述されて入るワードの関係性を可視化

「頑張る」が出現する一方、「相談」の付近に「心配」などが出現している。

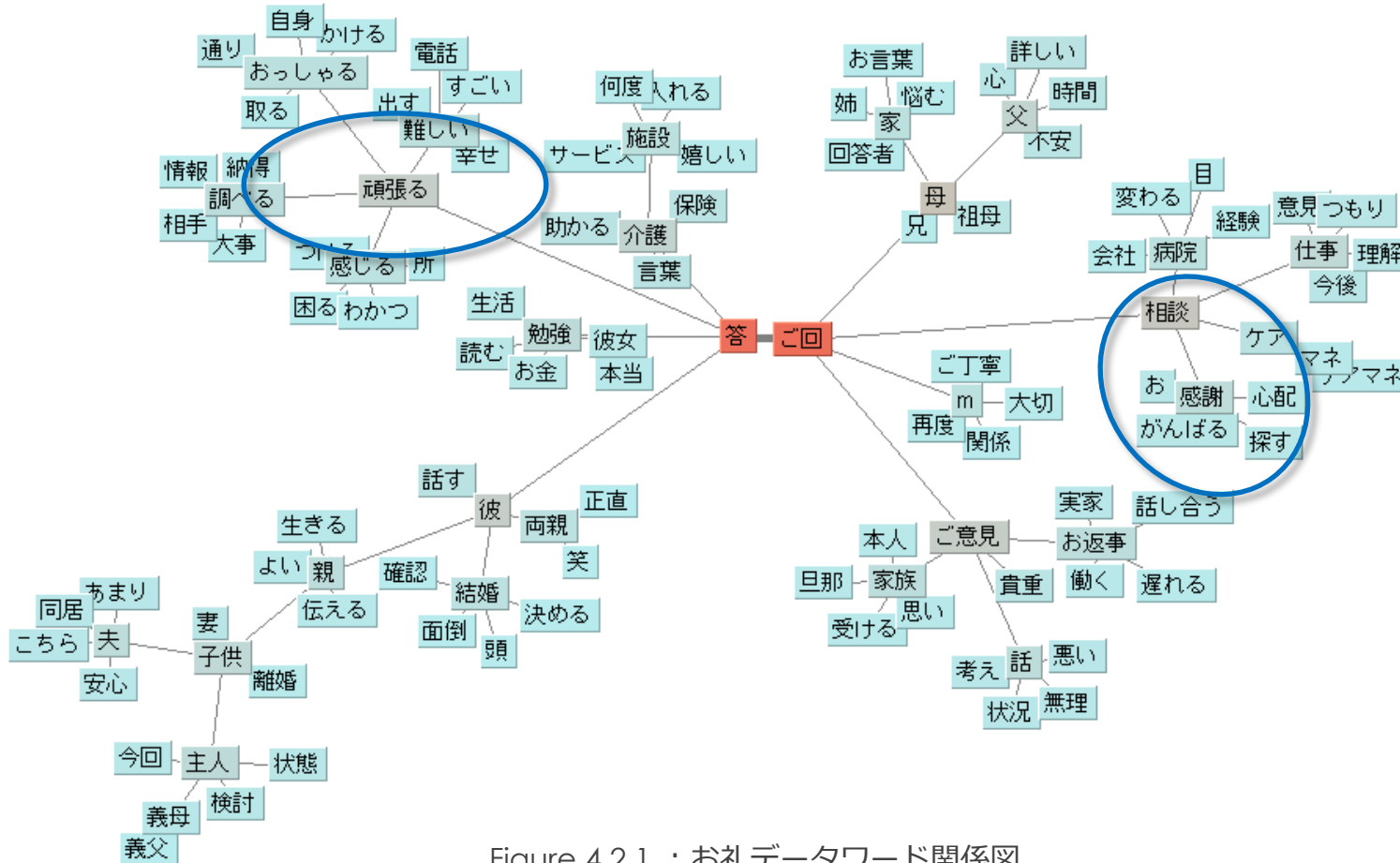


Figure 4.2.1 : お礼データワード関係図

Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色<灰色<赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

考察 QAサイトでのやりとりを通じて「頑張る」気持ちになった人もいる中で、「相談相手」についての悩みが深刻である可能性が高い。

「相談」関連お礼データ

回答を受けて初めて相談できる機関を知る/理解するケースが存在する。

「相談」関連お礼データ

御回答いただきまして、ありがとうございます。役所に相談するというのは思いつきませんでした。相談に行ってみます。

早々の回答を頂き、本当にありがとうございます。中々相談出来る方がいなく、かつ複雑な体系となっており、記載して頂いた内容本当に助かります。現在、まだ病院に入院しているので病院の相談員の方と相談しています。先日、ある療養型病院の相談員の方が母の障害の状態から医療費の負担も減るかもしれないとのことでした。もう少し、他の病院も探してみます。ありがとうございました。

回答ありがとうございました。入所する施設は決定しています。今回、特養の相談員さんに逆に聞かれている状況で、どうすれば良いかまた、どこに相談すれば良いか途方に就いていました。担当のケアマネージャーさんや市役所に相談したいと思います。

福祉課、ケアマネージャーですね。どこに相談・だれに相談すればいいかわからなかったのが助かります。どうもありがとうございます。

回答ありがとうございます！正直、どこに相談していいかも分からなかったんです。市のホームページの「福祉・介護」のところを見ても、「現在情報がありません」と表示され…。一体どんな市だと思いました。ですが相談担当部門はありました！そこに相談してみることを勧めようと思います。

Table 4.2.1 : 「相談」関連お礼データ



行政側が相談できる窓口を置いていても、相談したい人間まで情報が届いていない可能性が高い。



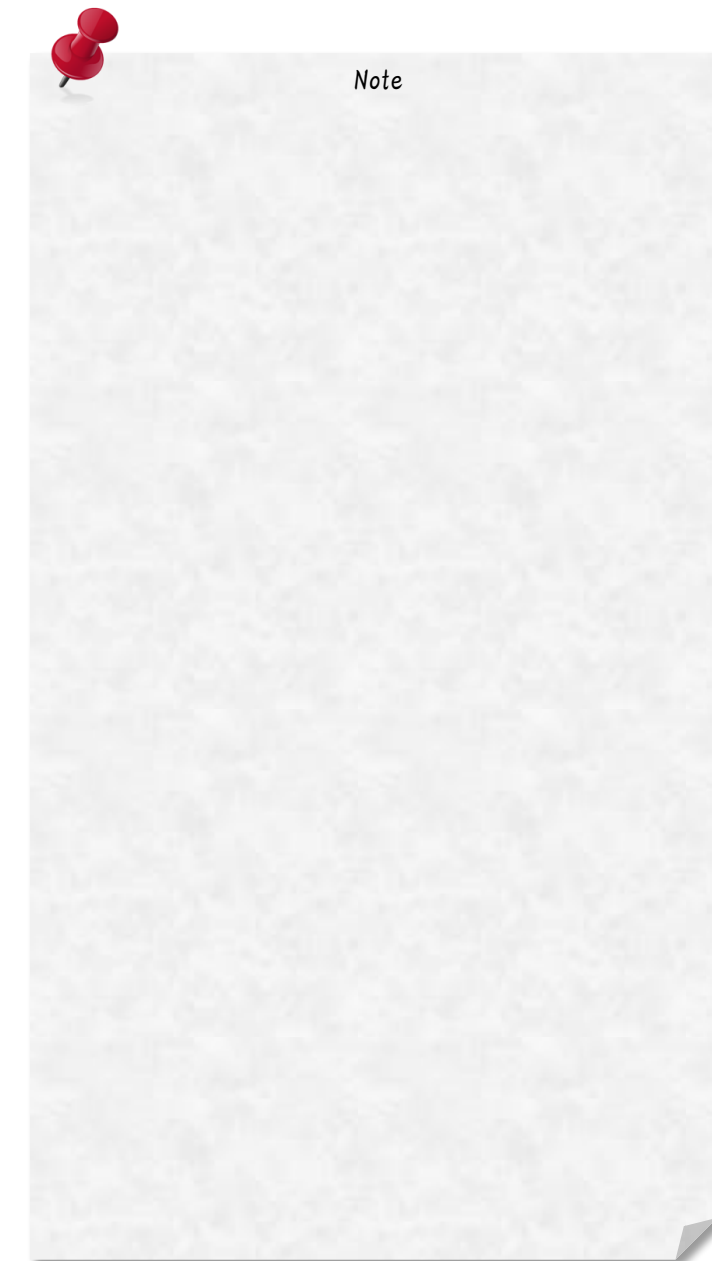
Note

1. 情報発信

誰と、何処で相談できるか等、介護者にわかりやすい言葉、場所からの情報発信をするべき

2. 介護者への積極的アプローチ

病院などを介して、相談できる場所があることを認識していない介護者へ積極的にアプローチするべき



4.3 経験分析



Note

- ◆ 経験分析は、自らの経験・体験談を具体的に記述している回答データを分析することで、製品・サービスや日常生活での不満・悩みなどを明らかにすることを目的としている。
- ◆ 本セクションでは、「ケアマネージャ」に関する経験談から、介護者がケアマネージャや施設を見つける際の現状について分析を行った。
- ◆ 介護者がケアマネージャ自体や、ケアマネージャを通して施設などを探す際に、適切な情報を得ることができておらず、最終的には自身の努力によって適切なマネージャ・施設を見つけるしかない状態であることがわかった。

「ケアマネージャ」に関する経験談

「ケアマネージャ」の記述がある回答の形容詞・動詞を可視化

「ケアマネージャ」に「探す」「変える」などが紐付いている。

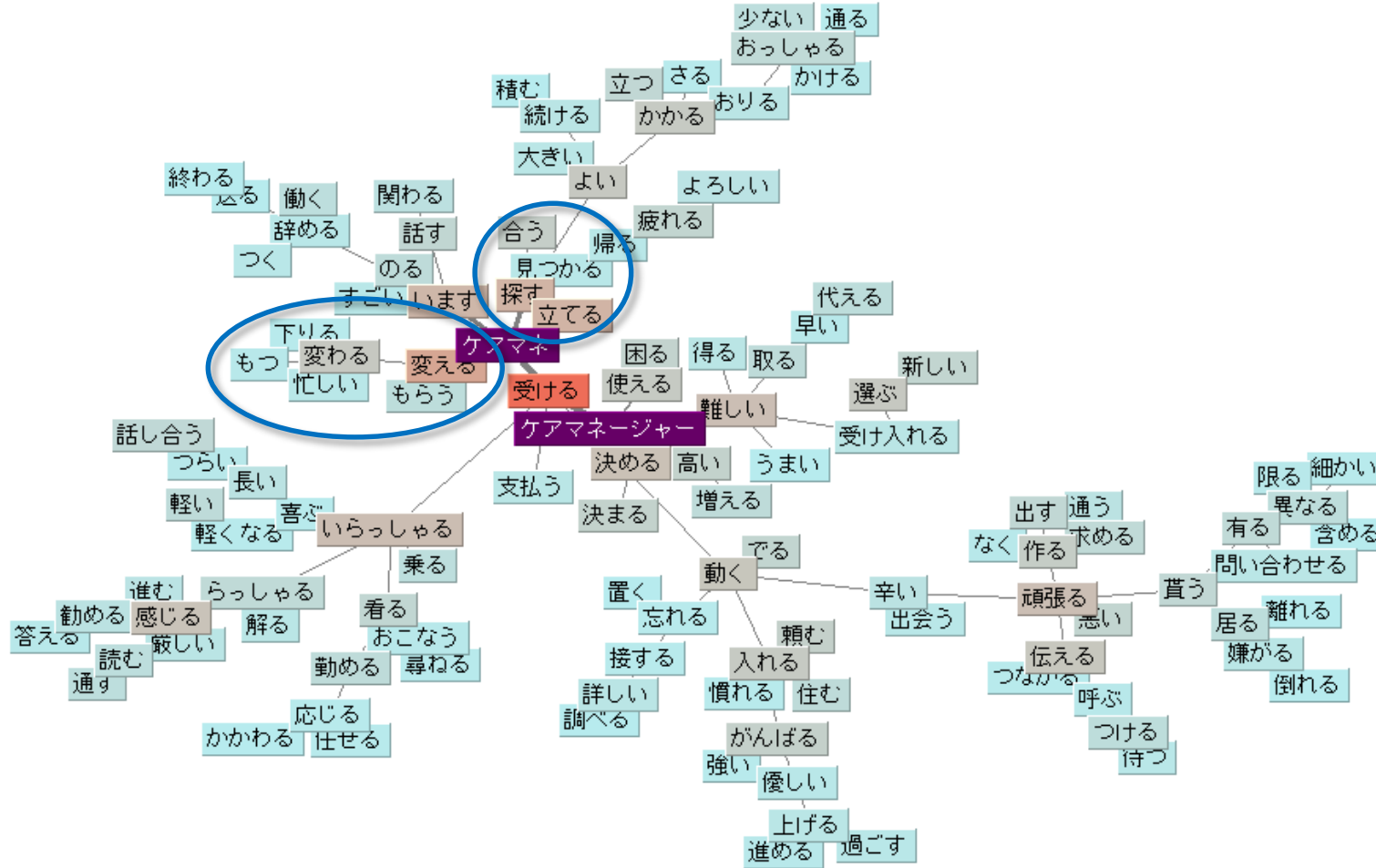


Figure 4.3.1 : 「ケアマネージャ」関連回答データワード関係図



Note

【図の見方】

- 位置に関係なくお互いの相対的な距離が近いほど同じ投稿内で記述されているワード
- 水色 < 灰色 < 赤色の濃淡順に記述されている頻度が高いワード

「ケアマネージャ」関連回答データ

施設探しをケアマネージャに頼れずに自力で解決している現状が見られる。

「ケアマネージャ」関連回答データ

わかりますよ、私も都内在住ですが、うちも自分で施設を探してくださいといわれましたよ。自分で探してくださいといわれ、自分で電話して空きを調べ予約しました。ちなみに、最初、**ケアマネージャーに相談したらこのサイトをそのまま印刷したのをただファックスしてきてこの中から探してくださいといわれましたのでどうなんだろうかねえ？**と思い、役所で相談したらやっぱりケアマネがいくつか探して提案してくるのが一般的だと言われました。とりあえず、ご両親が普段からお気に入りの方ならば今のままのほうが良いと思います。だけど、この件に関しては、そのケアマネの所属する介護事業者の責任者に連絡をいれたほうが良いと思いますね。うちでもそうして、交代しないまま、その件は片付きました。大変でしょうけど、頑張ってください。

お母様の介護、本当にお疲れ様です。私は介護の相談にのっているものです。いろいろな方のお話を伺うと、ケアマネージャーさん、ヘルパーさんにもいろいろな方がいるようですね。寝たきりの方でも通うことができるデイサービスを紹介したり、認知症専門の医師を往診させたり、**こちらから言わなくとも「何か不安なことはありませんか？」**と聞いてくれたり、**そんなことをしてくれるケアマネさんもいらっしゃるようです。ただ、残念ながら、このようなケアマネさんを探すのは難しいです。市役所も教えてくれることはほとんどありませんし。そこで、自分で勉強してインターネットなどで医者・ヘルパー・認知症対応のデイサービスを探すという方法もあります。**そして「こういうところを探してきたので、プランに入れてもらえますか？」とケアマネさんをお願いするという方法です。意外とこのようにしている方も少なくありません。大変残念ながら、ケアマネさんも忙しくて手が回っていない、ということもあります。いいサービスを使えればご負担も軽くなると思います。一踏ん張りするのはいかがでしょうか？

こんにちは、大変ですね。私も3年前は貴方と同じ状況でした。**結論から言うと自分で施設を調べ、訊ねて話しをして感じてを繰り返すしか無いのだと思います。**ケアマネさんのおっしゃる「兎に角予約を」と言うのはうかうかしているといつまで経ってもどこにも入れませんよ。という事だと思えます。これは私も今になって理解できます。予約して順番が来てもその時必要なければ断れますから。もし、ここでも良いかなと思うところには予約しておくの良いですよ。私の場合をお話ししますね。私の母の場合、生家が田舎で周りに木が多かったのでまずは環境を重点的に探しました。そして木造の古い家に永年住んでおりましたので同じような木造建築が良いと思いました。そして朝日の当たる部屋に決めました。介護に当たって下さる方達もとても信頼の置ける良い方ばかりです。本当に今、お互い音信して暮らしています。特養はなかなか条件が良いところを探せないかも知れませんが、思いを込めて熱心に探せば見つかるのではないのでしょうか？私の例はご参考になればと思い書かせて頂きました。

Table 4.3.1 : 「ケアマネージャ」関連回答データ



適切な施設と利用者のマッチングには大きな需要があると思われる。

Note

「ケアマネージャ」関連回答データ


ケアマネージャを変えた経験のある人、ケアマネージャの質の違いを実感している人がいる。

「ケアマネージャ」関連回答データ

これは、人の繋がりの中で探すしか無いと思います。私も私の方からケアマネを一度変えました。その時の経験上ですが、ヘルパーさんと仲が良かったので、事情を話し、ヘルパーさんより情報をもらい変えました。なので、今依頼しているヘルパーさんに聞くのが良いと思いますよ。

ケアマネを変えた方がいいと思います。まず、要介護度の認定についてはほかの方も回答されている通りです。更新の際は市から派遣される担当者が来て審査します。よその事業所のケアマネが市から委託されて来ることはありますが、現在担当のケアマネが審査することはありません。要介護または要支援の認定が出たら、担当ケアマネと相談してどのサービスを利用するか決めるわけですが、**ケアマネは人によって質の差が大きいです。私も両親の介護で、最初のケアマネの対応がよくなかったため、市の包括支援センターというところに相談し、近くにある別の事業所を紹介してもらってケアマネを変えました。**新しいケアマネはいろんな情報に詳しく、積極的にこんなサービスを利用したらとアドバイスしてくれたり空きがある施設を探してくれたりして、本当に変えてよかったと思っています。ケアマネを変更しても、引継ぎは全部やってくれるはずですので手続き上何も問題はありませんし、料金もかかりません。この際認定更新だけでなく、ケアマネの変更についても市役所、または包括支援センターに相談されたいかがでしょうか。

介護施設は、地域によって状況は大きく違いますし、施設によっても、違います。下の回答者にもあるように、何十件と問い合わせ、申し込み、自分たちで探すしかありません。が・・・同居してからだ、入居には不利だと思います。**ケアマネージャーさんも、親身に考えてくれる人を探し当てるまで何度も変える場合もあります。**できるだけのことをしたい・・・お気持ちはとてもわかりますが、あなたが仕事をしている以上、ムリな計画は考えない方が良いでしょう。

Table 4.3.2 : 「ケアマネージャ変更」関連回答データ

個々のケアマネージャの質の違いや地域ごとの福祉制度の差などから困ったときの相談相手は、最終的には個人で探すしかないのが現状であると思われる。



Note

1. 施設と利用希望者のマッチング

施設の空き情報・サービス等の情報と利用希望者の適切なマッチングには大きな需要があると思われる。

2. ケアマネージャの質向上

ケアマネージャの変更ができることを認識していない場合、精神的負担を感じながら我慢している介護者もいると思われる。こういった現状を解決するため、質の高いケアマネージャ人口の増加は急務であると思われる。





Note

- ◆ マイノリティ分析は、現在は非常に数が少ないものの、将来的に需要が拡大する可能性のある声を抽出することを目的としている。
- ◆ 本セクションでは、少数意見の中から「自立できない家族」についてのデータを抽出した。

4.4 マイノリティ分析

親の介護だけでは済まない

甘やかされ育った子供の影響

自立していない子供が介護する人間の不安・負担を大きくしている。

「自立できない」男性に関する質問データ

40過ぎてても定職につけない、現在無職の独身の息子がいる家が、今大変なことになっているそうで、その相談に実家の母が関わってしまい、困っています。老夫婦は母親は寝たきり状態で、家の事が出来ず、父親はもともと出来なかったのですが、もう80歳近く、体力気力がないようで、食事宅配や弁当などを買って家族で食べているようです。子供の時は場の空気が読めないほどのやんちゃで、お寺で行い法事ではお坊さんの横でふざけてみたり、宴席でみんなの前でわがままを言ったり、それを両親は注意もしないような育て方でした。勉強はできたようで、自慢の息子として溺愛して苦労させたくないからと、進路などにも口を出して可愛がって育てたようですが、大学を出て成人しても、仕事が長続きです、「親のせいで人生つぶされた」とぼやいているようです。その家がここ数年で**母親の病気で大変な状況になっていて、息子は仕事もバイトなどでしたが、介護保険が下りるからと、仕事をやめたそうです寝たきり状態なら、施設などに入れるのかもしれませんが、順番待ちなのか、息子が気がかりなのか、施設には入らず、家で寝たきり状態です。**このまま何年も同じ状況で行けるとは思えず、家族3人で共倒れになるのではないかと思います。状況がわかっているので、とても後味の悪い気持ちになります。子供を甘やかして溺愛して育ててしまったせいなのか、もともと、なんかしらのコミュニケーション障害があっってしまった不幸なのかわかりませんが、知ってしまった以上、気持ちがもやもやして仕方ありません。

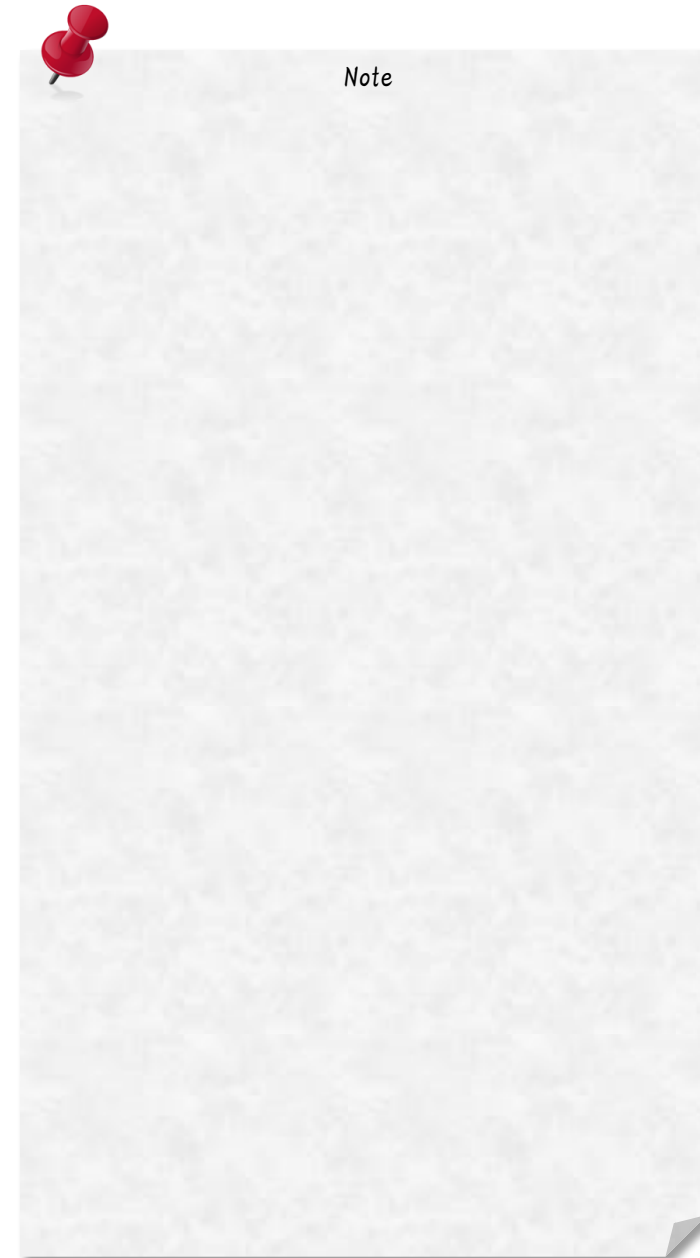
兄を自立させるには、どうしたらいいですか？私には兄が2人います。長男は独立して家を出て行きました。**次男は40手前ですが、実家で両親と一緒に住んでいます。今まで一度も一人暮らしをしたことがありません。**洗濯は父にしてもらい、食事は自分で買って来たものを食べるか、適当にあるものを食べるか、たまに簡単な調理をして食べますが、後片付けや洗い物は母に任せています。片付け掃除はいっさいせず、ごみの日にごみを出すこともしないで毎日のように通販で買ったものが届いているので、買ったものだけでなくダンボールや梱包材などもどんどん兄の部屋の地層になっていきます。**もしこのまま同居を続けても両親の介護はしそくにありません。私達家族が同居していたらもちろん私達が介護するでしょうし、別居していたら元のような汚い家になると思いますし、兄の部屋以外にも兄の物があふれだすだろうことが簡単に予想できるし、なんだかいろいろと心配です。**母に話しましたが、母と兄の仲はあまりよくないので、独立したらと言うのが面倒だし、悪者になりたくないといひます。一度だけ「将来どうするの？」って聞いたら「わからない」と答えたそうです。

Table 4.4.1 : 「家族」関連質問データ

子を自立させられない親は自身だけでなく、周りの家族にも多大な迷惑を掛けることを認識すべきであると思われる。



Note



1. 親の意識改革

働かない/掃除・洗濯ができない人間に育ててしまうことが将来的に、自分たちだけでなく周りの人間にまで影響を及ぼしてしまうことをしっかりと認識してもらわなければならない。

2. 自立支援

高齢化社会でのこれ以上のニート増加は介護者に多大な負担となる可能性が高く、早急な対応が必要であると思われる。

Q & A には発見がいっぱい!

 OKWave総合研究所

<http://www.okwave.co.jp/ri/>

発行日 2014年9月30日

【公式Facebookページ】

<http://www.facebook.com/okwave.ri>

【お問い合わせ】

このレポートに関するお問い合わせ先

取材に関するお問い合わせ先

無償トライアルレポートに関するお問い合わせ先

okri_report@ml.okwave.co.jp

okri_pr@ml.okwave.co.jp

okri_sample@ml.okwave.co.jp